

授 業 科 目 名	社会の理解		
担 当 者 名	田中 文佳	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2500001	授 業 形 態	講義
学 年	1	開 講 期	後期
単 位 数	1	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	個人の尊厳に関する法的根拠を学び、ライフスタイル全般にわたる社会保障制度の概要について基礎的知識を習得していく。介護を必要とする方々の多様な生活ニーズの背景を分析し、個々人の生活全体を支えるためのサービス提供のあり方について理解を深める。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会保障制度の意義を理解し、人々の生活と制度のつながりについて構造的に理解できる。</li> <li>2. 法律、行政施策の仕組み、サービス内容に関する基礎知識が身に付いている。</li> <li>3. 個々人の生活ニーズの充足に向けて、必要となる各種の制度・サービスを連結していくことができる。</li> </ol>		
授業計画		準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間	
1.	私たちの生活と社会福祉（1） 〔生活・家族・地域社会〕	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)	
2.	私たちの生活と社会福祉（2） 〔組織・少子高齢社会・ライフスタイルの変化〕	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 確認テストに向けて復習する 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分) 確認テストを見直す	
3.	社会保障制度の基本的な考え方 社会保障制度の展開	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)	
4.	社会保険制度（1） 〔年金保険制度〕	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分) 小テストの準備	
5.	社会保険制度（2） 〔医療保険制度〕	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する（90分） 小テストの準備	
6.	社会保険制度（3） 〔雇用保険制度・労働者災害補償保険制度〕	事前：テキストの指定範囲を読んでおく（90分） 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分) 小テストの準備	
7.	社会保険制度（4） 〔介護保険制度〕	事前：確認テストの範囲を復習しておく(90分) 小テストの準備 事後：確認テストを見直し内容を理解する(90分) 小テストの準備	
8.	障害者福祉施策 〔障害の概念・障害者差別解消法・障害者雇用制度〕	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分) 小テストの準備	
9.	障害者総合支援法の仕組み（1） 〔サービスの種類と内容〕	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分) 小テストの準備	
10.	障害者総合支援法の仕組み（2） 〔サービス利用の流れ・行政機関の役割〕	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)	

11.	介護実践にかかわる諸制度（1） [権利擁護の制度・個人情報保護制度]	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分) 小テストの準備
12.	介護実践にかかわる諸制度（2） [虐待(児童・高齢者・障害者)及びDV対策]	事前：テキストと配布されている関連資料を読んでおく(90分) 小テストの準備 事後：テキストと資料を参考に学習プリントに記入する(90分) 小テストの準備
13.	介護実践にかかわる諸制度（3） [保健、医療に関する施策]	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)
14.	介護実践にかかわる諸制度（4） [生活保護制度・生活困窮者自立支援制度]	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(90分) 確認テストの準備
15.	演習(確認作業) まとめレポートの作成	事前：確認テストの範囲を総復習しておく(90分) 確認テストの準備 事後：確認テストを見直し内容を理解する(90分)
<b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前、事後学習の一環として学習プリントを配布します。テキストを参考にして実直に取り組んでください。</li> <li>・学習プリントは各単元の終了後に提出してください。</li> <li>・随時、内容確認のためのテストを実施します。予習と復習を心掛けてください。</li> </ul>		
<b>成績評価の方法〔評価項目と割合〕</b>		
定期試験	提出物	授業への取り組み姿勢
70%	20%	10%
<b>使用テキスト</b>		
<b>書籍名</b>	<b>著者</b>	<b>出版社</b>
「最新 介護福祉士養成講座 2 社会の理解」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
「介護福祉士 国試ナビ 2021」	いとう総研資格取得支援センター	中央法規
<b>参考書又は参考資料等</b>		
「2022年版 介護福祉士国家試験問題解説クエスチョンバンク」「2022年版 介護福祉士過去&模擬問題集」		
<b>その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物は成績評価に反映します。締め切りを厳守し提出してください。</li> <li>・提出物及び確認テストは確認、解説の後に返却します。</li> </ul>		
<b>担当教員の連絡先等</b>		
<b>担当教員 E-mail</b>	<b>その他</b>	
t.fumi@hcc.ac.jp		

授 業 科 目 名	介護の基本 I		
担 当 者 名	田中 文佳	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2500002	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	3	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	介護福祉士は、個人の尊厳の保持と自立支援の理念を基に、介護を必要とされる一人ひとりの様々な生活背景や価値観を考慮しつつ最適な生活支援サービスを提供する。そのために必要な基本的理念と倫理、専門的役割及び責務について学ぶ。教科書を中心とした講義のほかビデオ学習やグループワーク演習、学外演習を通して、利用者理解の視点と介護福祉士の専門性について理解を深める。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「介護福祉とは何か」について歴史的な経緯から学び、個人の尊重と自立の支援に基づく生活支援としての介護福祉の独自性や専門性について理解できる。</li> <li>2. 介護福祉士の法的義務・責務、また、倫理綱領(日本介護福祉士会)について説明できる。</li> <li>3. 超高齢社会における介護福祉士の役割と機能を理解し、利用者主体の介護実践のあり方について説明できる。</li> </ol>		
授 業 計 画		準備学習（予習・復習 等）の具体的な内容及び必要時間	
1.	介護福祉とは何か 介護の成り立ち	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)	
2.	演習(視聴学習)：介護福祉の現場について	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：配布した資料を読み自分の考えを記入する(135分)	
3.	介護概念の変遷（1）1970年代・1980年代	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)	
4.	介護概念の変遷（2）1990年代・2000以降	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する 小テストの準備(135分)	
5.	介護概念の変遷（3）2000年以降	事前：テキストの指定範囲を読んでおく 小テストの準備(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)	
6.	演習(グループワーク) 介護問題の対応策を考察	事前：配布されている関連資料を読んでおく(135分) 事後：配布した資料を読み学習プリントに自分の考えを記入する(135分)	
7.	介護福祉の基本理念について	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)	
8.	尊厳を支える介護とは	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)	
9.	自立を支える介護とは	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)	
10.	演習(事例検討)：利用者主体と自己決定権	事前：配布されている事例資料を読み、自分の考えをまとめる (135分) 事後：学習プリントに事例内容のまとめを記入する(135分)	

11.	演習(グループワーク) 利用者主体に向けた課題	事前：配布されている事例資料を読み、自分の考えをまとめる (135分) 事後：学習プリントに事例内容のまとめを記入する(135分)
12.	介護福祉士の役割と機能（1） 地域包括ケアシステム	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
13.	介護福祉士の役割と機能（2） 介護予防 医療的ケア	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する 小テストの準備(135分)
14.	介護福祉士の役割と機能（3） 人生の最終段階の支援 災害時の支援	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する 小テストの準備(135分)
15.	社会福祉士及び介護福祉士法の概要	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
16.	介護福祉士の義務規定	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
17.	演習(確認作業)：介護福祉士の業務と義務	事前：確認テストの範囲を復習する(135分) 事後：確認テストを見直し内容を理解する(135分)
18.	介護福祉士養成教育の変遷	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
19.	介護福祉現場における役割の変遷と期待	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
20.	チームリーダーとしての介護福祉士の役割	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
21.	職能団体について	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
22.	介護福祉士を支える団体（1） 日本介護福祉士会	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
23.	介護福祉士を支える団体（2） 日本介護福祉士養成施設協会 日本介護福祉教育学会	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
24.	倫理綱領（日本介護福祉士会）	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する 小テストの準備(135分)
25.	介護実践における倫理	事前：テキストの指定範囲を読んでおく 小テストの準備(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
26.	倫理的判断と介護福祉士の対応	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
27.	演習(事例検討)：倫理的介護実践のあり方	事前：配布されている事例資料を読み、自分の考えをまとめる (135分) 事後：学習プリントに事例内容のまとめを記入する(135分)

28.	演習(グループワーク)：倫理的介護実践の方法	事前：配布されている事例資料を読み、自分の考えをまとめる (135分) 事後：学習プリントに事例内容のまとめを記入する(135分)
29.	自立支援とは何か	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
30.	自立支援の考え方	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
31.	ICF（国際生活機能分類）について	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する小テストの準備(135分)
32.	介護福祉におけるICFのとらえ方	事前：テキストと事例資料を読み発表に向けた資料を作成する (135分) 小テストの準備 事後：テキストと事例資料を読み発表に向けた資料を作成する (135分)
33.	演習(事例検討と発表) ICFから考える個人と生活ニーズ	事前：発表に向けた資料の準備をしておく(135分) 事後：学習プリントに事例内容のまとめを記入する(135分)
34.	ICFとストレングスの理解	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
35.	演習(グループワーク)：高齢者のストレングス	事前：配布されている事例資料を読み、自分の考えをまとめる (135分) 事後：学習プリントに事例内容のまとめを記入する(135分)
36.	リハビリテーションとは何か	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
37.	リハビリテーションの実際	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
38.	自立の支援とリハビリテーション	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
39.	演習(確認作業) リハビリテーションの目的と役割	事前：確認テストの範囲を復習する(135分) 事後：確認テストを見直し内容を理解する(135分)
40.	介護予防の重要性	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
41.	介護予防の種類と特徴	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する 小テストの準備(135分)
42.	介護予防の実際	事前：配布資料を読み、内容を理解しておく 小テストの準備(135分) 事後：アクティビティ実践に向けた準備をする(135分)
43.	演習(実践)：介護予防のアクティビティ	事前：アクティビティ実践に向けた準備をする(135分) 事後：演習の振り返り、評価について学習プリントに記入する (135分)

44.	演習(確認作業)：まとめレポートの作成（1）	事前：確認テストに向けて内容の総復習をしておく(135分) 事後：確認テストを見直し内容を理解する(135分)	
45.	演習(確認作業)：まとめレポートの作成（2）	事前：確認テストに向けて内容の総復習をしておく(135分) 事後：確認テストを見直し内容を理解する(135分)	
<b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プリントを配布しますのでテキストを参考にして事前・事後学習として各自取り組んでください。</li> <li>・随時、内容確認のためのテストを実施します。予習と復習を心掛けてください。</li> <li>・介護福祉に関するニュースや文献を意識し、多くの情報を取得するようにしてください。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法〔評価項目と割合〕</b>			
定期試験	提出物	授業への取り組み姿勢	
70%	20%	10%	
<b>使用テキスト</b>			
書籍名	著者	出版社	
「最新 介護福祉士養成講座3 介護の基本Ⅰ」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規	
「介護福祉士 国試ナビ 2021」	いとう総研資格取得支援センター	中央法規	
<b>参考書又は参考資料等</b>			
「2022年版介護福祉士国家試験問題解説クエスチョンバンク」 「2022年版介護福祉士過去&模擬問題集」			
<b>その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート、課題、確認テストは提出し、解説後に返却します。</li> <li>・授業ファイルは適宜提出です。授業資料や課題、レポートのファイリングを心掛けてください。</li> </ul>			
<b>担当教員の連絡先等</b>			
担当教員 E-mail	その他		
t.fumi@hcc.ac.jp			

授 業 科 目 名	介護の基本Ⅱ		
担 当 者 名	田中 文佳	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2500003	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	後期
単 位 数	3	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	利用者の生活を支える仕組みと地域包括ケアシステムの機能について学習する。また、保健・医療・福祉の多職種連携の重要性とそのチームアプローチに必要なコミュニケーション方法について学ぶ。利用者の安全確保のためのリスクマネジメントの具体的方法や感染症対策、介護職自身の健康管理、労働環境のあり方についても理解を深める。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険制度の理念及び各種サービスの内容、地域包括ケアシステムについて説明できる。</li> <li>2. 介護サービス提供時における利用者の安全確保とリスクマネジメント、感染症対策等に関する基礎的知識を習得する。</li> <li>3. 介護福祉職の健康管理と労働環境の改善について留意できる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	私たちの生活の理解（1）生活の構造的理解	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)	
2.	私たちの生活の理解（2） 演習(グループワーク)：生活の違いに関する討議	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)	
3.	私たちの生活の理解（3） 高齢者の生活を支える視点	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)	
4.	私たちの生活の理解（4） 障害のある方々の生活を支える視点	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)	
5.	「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解（1） 演習：自己覚知「その人らしさ」と「自分らしさ」	事前：配布されている資料を読み、内容を理解しておく(135分) 事後：学習プリントに演習のまとめと感想を記入する(135分)	
6.	「その人らしさ」と「自分らしさ」（2） 演習(視聴覚教材)：価値観の相違と受容について	事前：配布されている資料を読み、内容を理解しておく(135分) 事後：学習プリントに感想を記入する(135分)	
7.	「その人らしさ」と「自分らしさ」（3） 演習(グループワーク)：価値観の相違と受容について	事前：配布されている事例資料を読み、自分の考えをまとめる(135分) 事後：学習プリントに演習のまとめと感想を記入する(135分)	
8.	「その人らしさ」を理解する（4） 演習(視聴覚教材)：大正・昭和の社会背景の理解	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：学習プリントに感想を記入する(135分)	
9.	「その人らしさ」を支える介護（1） 利用者の心を支える専門性	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)	

10.	「その人らしさ」を支える介護（２） 演習(事例検討)：多様な生き方を受容する	事前：配布されている事例資料を読み、自分の考えをまとめる(135分) 事後：学習プリントに演習のまとめと感想を記入する(135分)
11.	演習(フィールドワーク)：国際福祉機器展の視察	事前：資料を読み研修の準備をする(135分) 事後：学習プリントに視察のレポートを書く(135分)
12.	演習(フィールドワーク)：国際福祉機器展の視察	事前：資料を読み、研修の準備をする(135分) 事後：学習プリントに視察のレポートを書く(135分)
13.	介護保険制度の理解（１） 制度の概要 国・都道府県・市町村の機能	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分) 小テストの準備
14.	介護保険制度の理解（２） 介護保険施設	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分) 小テストの準備
15.	介護保険制度の理解（３） 居宅サービス	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分) 小テストの準備
16.	介護保険制度の理解（４） 地域密着型サービス	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分) 小テストの準備
17.	介護保険制度の理解（５） 地域支援事業	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分) 小テストの準備
18.	介護保険制度の理解（６） 地域包括ケアシステム	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入し、内容をまとめておく(135分)
19.	演習(確認作業)：介護保険 まとめレポートの作成	事前：確認テストの範囲を復習する(135分) 事後：確認テストを見直し内容を理解する(135分)
20.	障害者総合支援法の理解（１） 制度の概要 介護給付	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分) 小テストの準備
21.	障害者総合支援法の理解（２） 訓練等給付 地域支援事業	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分) 確認テストの準備
22.	演習(確認作業)：障害者総合支援法 まとめレポートの作成	事前：確認テストの範囲を復習する(135分) 事後：確認テストを見直し内容を理解する(135分)



23.	利用者の生活を支える地域社会	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
24.	インフォーマルサービスについて	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
25.	インフォーマルサービスの提供者	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
26.	地域連携の意義と目的	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
27.	地域連携に関わる機関の理解	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分) 小テストの準備
28.	演習(フィールドワーク) 利用者を取り巻く地域連携の実際①	事前：配布されている資料を読み、演習の準備をしておく (135分) 事後：学習プリントに演習内容のまとめを記入する (135分)
29.	演習(フィールドワーク) 利用者を取り巻く地域連携の実際②	事前：配布されている資料を読み、演習の準備をしておく (135分) 事後：学習プリントに演習内容のまとめと感想を記入する (135分)
30.	介護実践における多職種連携（１） 連携・協働の必要性	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
31.	介護実践における多職種連携（２） 保健、福祉、医療に関連する行政機関の機能の理解	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
32.	介護における安全の確保（１） リスクマネジメントについて	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
33.	介護における安全の確保（２） 演習(事例発表)：介護実習中のヒヤリハット	事前：ヒヤリハットの事例をまとめておく(135分) 事後：学習プリントに事例発表のまとめと感想を記入する (135分)
34.	介護における安全の確保（３） インシデントの対応と報告	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
35.	介護における安全の確保（４） アクシデントの対応と報告	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分) 小テストの準備
36.	介護における安全の確保（５） 生活の中のリスクと対策	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
37.	感染管理のための方策（１） 高齢者介護施設における基本的な感染対策	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
38.	感染管理のための方策（２） 感染対策の基礎知識 感染源と感染経路	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
39.	感染管理のための方策（３） 集団感染をおこす感染症種別と対応 発生時の届け出	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)

40.	感染管理のための方策（４） 演習(実践)：手洗いの実施	事前：配布されている資料を読み、演習の準備をしておく (135分) 事後：学習プリントに演習内容のまとめと感想を記入する (135分)
41.	演習(確認作業)：安全確保・感染管理の対策 まとめレポートの作成	事前：確認テストに向けて内容の復習をしておく(135分) 事後：確認テストを見直し内容を理解する(135分)
42.	介護に携わる人の健康管理（１） こころとからだの健康管理	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
43.	介護に携わる人の健康管理（２） 燃え尽き症候群の理解と対応	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分) 小テストの準備
44.	安心して働ける環境づくり 介護労働者の労働環境と法制度	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(135分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(135分)
45.	演習(確認作業)：介護の基本Ⅱの理解 まとめレポートの作成	事前：確認テストに向けて内容の総復習をしておく (135分) 事後：確認テストを見直し内容を理解する(135分)

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

- ・学習プリントを配布しますのでテキストを参考にして事前・事後学習として各自取り組んでください。
- ・随時、内容確認のためのテストを実施します。予習と復習を心掛けてください。
- ・介護福祉に関するニュースや文献を意識し、多くの情報を取得するようにしてください。

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

定期試験	提出物	授業への取り組み姿勢	
70%	20%	10%	

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
「介護福祉士 国試ナビ 2021」	いとう総研資格取得支援センター	中央法規

**参考書又は参考資料等**

「2022年版 介護福祉士国家試験問題解説クエスチョンバンク」 「2022年版 介護福祉士過去&模擬問題集」

**その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕**

- ・レポート、課題、確認テストは提出し、解説後に返却します。
- ・授業ファイルは適宜提出です。授業資料や課題、レポートのファイリングを心掛けてください。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail	その他
t.fumi@hcc.ac.jp	

授 業 科 目 名	コミュニケーション技術		
担 当 者 名	竹並 正宏	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2500004	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	通年
単 位 数	2	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP1-1-C		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>介護福祉士には利用者に対するケアだけでなく、求められるさまざまなコミュニケーション技法についてより具体的な理解を促すために、多くの事例を取り上げコミュニケーションにおける意義と目的、記録、報告・連絡・相談、会議について連携をキーワードにまとめる。</p> <p>コミュニケーションをするのではなく在るものにとらえることによりコミュニケーションの中心を常に利用者においてかかわることの大切さをテーマに介護技術の提供を通して生活を支援するという介護福祉士の専門性と人間の基本願望であるコミュニケーションとの関係を踏まえたかかわりのあり方を修得する。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p>1. 介護技術の提供を通して生活を支援するという介護福祉士の専門性と人間の基本願望であるコミュニケーションとの関係の姿勢が身に付いている。</p> <p>2. 新しい視点も提案し、深く理解することを目指し、積み重ねて介護福祉士の専門性につながるコミュニケーション技術の姿勢が身に付いている。</p>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	コミュニケーションの意義とその原因	<p>事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。（45分）</p> <p>事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。（45分）</p>	
2.	コミュニケーションの基本	<p>事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。（45分）</p> <p>事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。（45分）</p>	
3.	利用者・家族との信頼関係の形成	<p>事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。（45分）</p> <p>事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。（45分）</p>	
4.	利用者を深く理解するためのコミュニケーション技術	<p>事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。（45分）</p> <p>事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。（45分）</p>	
5.	人間に携わるコミュニケーション願望と介護の特性	<p>事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。（45分）</p> <p>事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。（45分）</p>	
6.	生活支援における介護技術とコミュニケーション	<p>事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。（45分）</p> <p>事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。（45分）</p>	
7.	介護福祉士に求められるコミュニケーション技術	<p>事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。（45分）</p> <p>事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。（45分）</p>	
8.	話を聴く技法	<p>事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。（45分）</p> <p>事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。（45分）</p>	

9.	「事例」話を聴く技法	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
10.	感情表現を察する技法	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
11.	利用者の感情表現を察する技法	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
12.	納得と同意を得る技法	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
13.	質問の技法	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
14.	相談・助言・指導の技法	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
15.	利用者とのコミュニケーション	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
16.	コミュニケーションの障害とその原因	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
17.	コミュニケーション障害の対応を考えるための視点	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
18.	コミュニケーション障害の対応の基本	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
19.	認知症に応じたコミュニケーション技術	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
20.	視力・聴力障害に応じたコミュニケーション技術	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
21.	知的障害に応じたコミュニケーション技術	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
22.	精神障害に応じたコミュニケーション技術	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)

23.	チームのコミュニケーションとその方法	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
24.	介護における記録の意義と目的	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
25.	記録の書き方と留意点	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
26.	「報告」「連絡」「相談」の意義と目的	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
27.	「報告」「連絡」「相談」の具体的方法と留意点	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
28.	会議の種類と運用	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
29.	チームのコミュニケーションにおける会議の必要性	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
30.	介護におけるコミュニケーションのまとめ	事前：UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後：キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

介護福祉士がコミュニケーションを通してクライアントを支援しようとする時には、クライアントの疾病以外も含めた生活全体を見渡す力を学習するため社会の諸問題に興味や関心を示す。コミュニケーション障害の理解、傷害に応じたコミュニケーション技法について考え、適切にコミュニケーションを取ることができる。

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

授業への取組み姿勢	レポート	定期試験	
20%	30%	50%	

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
コミュニケーション技術	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規

**参考書又は参考資料等**

毎回、使用テキストのまとめのプリントを配布し重要点を記入して参考資料としていく。  
視聴覚教育や KJ 法を使いながら、より具体的に進めていく。

**その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕**

コミュニケーションを通して、介護福祉士としての福祉の向上に貢献することを要望する。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail	その他
takenami@knwu.ac.jp	

授 業 科 目 名	生活支援技術 I		
担 当 者 名	田中 文佳	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2500023	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	生活支援の基本的な考え方を理解し、介護を必要とされる方々の安全・快適な日常生活をサポートするための福祉用具の活用、住環境の整備、食生活及び被服生活の基本知識を学ぶ。介護福祉の業務と生活支援の理論が融合できるように、演習を通して家庭生活の実際を体得する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間の生活の営みを総合的に捉え、個々人の生活の継続性を支えることが介護福祉業務の核となることを理解できる。</li> <li>2. 安全で快適な自立生活に向けた福祉用具の展開、住環境の整備方法、家事支援の実践力を習得する。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	生活を理解する視点(1)生活とは何かを学ぶ	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)	
2.	生活を理解する視点(2) 演習(グループワーク) 「個々人の生活の受容と介護福祉支援の考え方」	事前：配布されている資料を読み、自分の考えをまとめておく(45分) 事後：学習プリントにまとめと感想を記入する(45分)	
3.	生活支援の基本的な考え方(1) 関連する法律	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)	
4.	生活支援の基本的な考え方(2)ICF の概念	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)	
5.	生活支援の基本的な考え方(3) 演習(グループワーク) 「ICF に基づいた生活支援の事例を検討する」	事前：配布されている事例資料を読み、自分の考えをまとめる(45分) 事後：学習プリントに演習のまとめと感想を記入する(提出) (45分)	
6.	介護保険制度と介護予防(1) 介護が必要となった原因・廃用症候群について	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分) 小テストの準備	
7.	介護保険制度と介護予防(2) 廃用症候群の予防と自立の支援	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)	
8.	介護予防とレクリエーション活動(1) レクリエーション活動とは何か	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)	
9.	介護予防とレクリエーション活動(2)演習(実践) 「レクリエーション計画書を作成」	事前：配布されている資料を読み、内容を理解しておく(45分) 事後：学習プリントに演習の振り返りをまとめておく(45分)	

10.	介護予防とレクリエーション活動(3)演習(実践) 「レクリエーション活動の実践」	事前：資料を読み演習の準備をする(45分) 事後：学習プリントに演習のレポートを記入する (提出) (45分)
11.	生活支援とリハビリテーション(1) リハビリテーションの考え方	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
12.	生活支援とリハビリテーション(2) 介護保険制度とリハビリテーション	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
13.	生活支援と福祉用具の活用(1) 福祉用具とは何か 福祉用具を活用する際の専門的視点(視聴覚学習)	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
14.	生活支援と福祉用具の活用(2)演習（グループワーク） 「脳卒中を患った要介護者の方への支援事例」	事前：配布されている事例資料を読み、自分の考えをま とめる(45分) 事後：学習プリントに事例内容のまとめを記入する (提出) (45分)
15.	演習(フィールドワーク) 高齢者擬似体験 福祉用具活用の講義	事前：資料を読み研修の準備をする(45分) 事後：学習プリントに研修のレポートを書く(45分)
16.	演習(フィールドワーク) 高齢者擬似体験 福祉用具活用の講義	事前：資料を読み、研修の準備をする(45分) 事後：学習プリントに視研修のレポートを書く (提出) (45分)
17.	居住環境と住まいの役割 日本の住まいの特徴	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
18.	家庭内における事故の理解	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
19.	高齢者の住まいの種別	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
20.	住環境、道路・建物、公共交通機関に関する法制度	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
21.	生活と環境問題：環境ホルモン、環境保全の取り組み	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
22.	高齢者などに配慮した住宅各所の空間構成(1) 玄関、廊下、階段、浴室、トイレ	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分) 小テストの準備
23.	高齢者などに配慮した住宅各所の空間構成(2) 台所、寝室、照明、色、騒音	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分) 小テストの準備
24.	住まいの管理：温度・湿度、防虫、災害への準備	事前：テキストの指定範囲、配布資料を読んでおく (45分) 事後：テキスト、資料を参考に学習プリントに記入する (45分)

25.	集団生活の場における工夫・留意点(1) 居室の変遷と施設の運営基準	事前：配布資料を読んでおく(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
26.	集団生活の場における工夫・留意点(2)演習 グループワーク「入居者主体の施設環境の整備について」	事前：事例資料を読み、自分の考えをまとめておく(45分) 事後：学習プリントに事例検討のまとめを記入(提出)(45分)
27.	住環境の整備における他職種の連携	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
28.	応急手当の知識と技術 演習(実践) 「止血法、骨折の固定」	事前：テキストの指定範囲を読んでおく、必要物品を準備する(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
29.	災害時における生活支援	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(45分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(45分) 確認テストの準備
30.	まとめ 生活支援の考え方と具体的実践内容の確認	事前：確認テストの範囲を総復習する(45分) 事後：確認テストを見直し内容を理解する(45分)

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

- ・次回授業の内容を提示します。教科書や配布資料を読み、事前・事後学習の一環として学習プリントに取り組んでください。
- ・随時、内容確認のためのテストを実施します。予習と復習を心掛けてください。

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

定期試験	提出物	授業への取り組み姿勢	
70%	20%	10%	

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 I」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
「介護福祉士 国試ナビ 2021」	いとう総研資格取得支援センター	中央法規

**参考書又は参考資料等**

「2022 年版 介護福祉士国家試験問題解説クエスチョンバンク」「2022 年版 介護福祉士過去&模擬問題集」

**その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕**

- ・授業ファイル、学習プリントは適宜提出です。ファイリングを心がけ、提出期日を守り提出してください。
- ・提出物は確認、解説の後に返却します。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail	その他
t.fumi@hcc.ac.jp	



授 業 科 目 名	生活支援技術Ⅱ		
担 当 者 名	廣藤 智之	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2500024	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援技術Ⅱの講義・演習は、介護老人保健施設および通所リハビリテーションでの職務経験を持つ教員が、対象者の能力を活用し、安全・安楽に配慮し、自立に向けた生活支援の基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。そのため介護福祉士に求められる役割と機能について理解し、専門職としての態度を養うこと、また各分野の介助技術の基本的な手順や留意点について講義で詳述し、さらにグループでの介助技術の演習および介助方法等をディスカッションすることにより、その根拠を考察し理解を深めていく。</li> <li>介護実習の段階に沿って、介護を必要とする人がどのような状態であってもその人らしく生きるための生活環境作りや生活の楽しみ、生活上の支障の解決について支援することを狙いとした講義・演習を構成し、学生自らもその視点についてグループワーク等で検討する。</li> </ul>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>基本的な介護の知識、技術、態度を修得し、利用者の状態に応じた適切な技法を活用した支援ができる。</li> <li>生活は、それぞれが単独で機能しているのではなく連続性をもって成り立っていること、また、生活支援技術は、その連続した生活を断ち切らないよう支援することの重要性が2. 理解できる。</li> <li>介護の援助に応じた福祉用具、福祉機器の活用方法が習得できる。</li> <li>介護技術の根拠を理解し、ICF の概念に基づいたアセスメントから、個々の利用者の生活活動の違いや、気づき等を系統的に整理できる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習 等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	生活支援技術における意義と目的① 実習室物品・使用時の留意点	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：実習室物品の取り扱い等の留意点をまとめる（45分）	
2.	生活支援技術における意義と目的② ICF に基づくアセスメントについて	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：ICF の生活機能モデル（図）をまとめる（45分）	
3.	休息と睡眠の介護：意義と目的 ・リネンの取り扱い・ベッドメイキング	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：リネンの取り扱いの練習を行う（45分）	
4.	休息と睡眠の介護① ・ベッドメイキング（下シーツ 三角コーナー）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：下シーツの三角コーナーの練習を行う（45分）	
5.	休息と睡眠の介護② ・ベッドメイキング（下シーツ 四角コーナー）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：下シーツの四角コーナーの練習を行う（45分）	

6.	<p>休息と睡眠の介護③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッドメイキング（防水シート・枕カバー）</li> </ul>	<p>事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分）</p> <p>事後：ベッドメイキングの技術を習得できるよう練習を行う（45分）</p>
7.	<p>自立に向けた移動の介護：意義と目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす移動介助（基本操作方法）</li> </ul>	<p>事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分）</p> <p>事後：車いす移動介助の留意点をまとめ、実技練習を行う（45分）</p>
8.	<p>自立に向けた移動の介護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす移動介助（段差昇降・坂道・砂利道）</li> </ul>	<p>事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分）</p> <p>事後：車いす移動介助の留意点等をまとめ、実技練習を行う（45分）</p>
9.	<p>自立に向けた移動の介護：意義と目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行介助（片麻痺：平地）</li> </ul>	<p>事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分）</p> <p>事後：歩行介助の留意点等をまとめ、実技練習を行う（45分）</p>
10.	<p>自立に向けた移動の介護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行介助（片麻痺：段差・溝越え、階段昇降）</li> </ul>	<p>事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分）</p> <p>事後：歩行介助の留意点等をまとめ、実技練習を行う（45分）</p>
11.	<p>自立に向けた移動の介護：意義と目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディメカニクス（立位・着座介助）</li> </ul>	<p>事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分）</p> <p>事後：ボディメカニクスについてまとめ、実技練習を行う（45分）</p>
12.	<p>自立に向けた移動の介護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディメカニクス （体位変換：仰臥位⇔側臥位）</li> </ul>	<p>事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分）</p> <p>事後：ボディメカニクスについてまとめ、実技練習を行う（45分）</p>
13.	<p>自立に向けた移動の介護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディメカニクス （体位変換：水平・上方移動）</li> </ul>	<p>事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分）</p> <p>事後：ボディメカニクスについてまとめ、実技練習を行う（45分）</p>
14.	<p>自立に向けた身じたくの介護：意義と目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の着脱更衣（座位 前開き）</li> </ul>	<p>事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分）</p> <p>事後：衣服の着脱の留意点等をまとめ、実技練習を行うこと（45分）</p>
15.	<p>自立に向けた身じたくの介護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の着脱更衣（座位 かぶり）</li> </ul>	<p>事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分）</p> <p>事後：衣服の着脱の留意点等をまとめ、実技練習を行う（45分）</p>
16.	<p>自立に向けた身じたくの介護：意義と目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔ケア（自歯）</li> </ul>	<p>事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分）</p> <p>事後：口腔ケアの意義・目的、実施時の留意点等をまとめる（45分）</p>

17.	自立に向けた身じたくの介護 ・口腔ケア（義歯）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：口腔ケアの意義・目的、実施時の留意点等をまとめる（45分）
18.	自立に向けた食事の介護：意義と目的 ・食事のメカニズム	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：食事のメカニズム・介助時の留意点等をまとめる（45分）
19.	自立に向けた食事の介護 ・食事介助（座位・臥位）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：食事介助演習の振り返り、留意点等をまとめる（45分）
20.	自立に向けた食事の介護 ・口腔ケア介助	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：口腔ケア介助演習の振り返り、留意点等をまとめる（45分）
21.	自立に向けた身じたくの介護 ・衣服の着脱更衣（臥位 前開き）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：衣服の着脱の留意点等をまとめ、実技練習を行う（45分）
22.	自立に向けた身じたくの介護 ・衣服の着脱更衣（臥位 がぶり）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：衣服の着脱の留意点等をまとめ、実技練習を行う（45分）
23.	自立に向けた身じたくの介護：意義と目的 ・身だしなみ（爪切り・軟膏・湿布・点眼等）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：講義内容のポイント・留意点等をまとめる（45分）
24.	自立に向けた身じたくの介護：意義と目的 ・身だしなみ（医師法第17条（通知）等）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：講義内容のポイント・留意点等をまとめる（45分）
25.	自立に向けた排泄の介護：意義と目的 ・排泄のメカニズム	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：排泄のメカニズム・介助時の留意点等をまとめる（45分）
26.	自立に向けた排泄の介護 ・排泄介助（布おむつ交換）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：布おむつ交換の留意点等をまとめ、実技練習を行う（45分）
27.	自立に向けた排泄の介護 ・排泄介助（紙おむつ交換）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：紙おむつ交換の留意点等をまとめ、実技練習を行う（45分）
28.	自立に向けた入浴・清潔保持の介護：意義と目的 ・入浴のメカニズム	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：入浴のメカニズム・介助時の留意点等をまとめる（45分）
29.	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 ・入浴介助（一般浴）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（45分） 事後：入浴介助演習の振り返り、留意点等をまとめる（45分）

30.	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 ・入浴介助（一般浴）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと （45分） 事後：入浴介助演習の振り返り、留意点等をまとめる（45分）
<b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術の手順、留意点、要点等について解説を加えた動画を配信しますので予習・復習に活用し覚えてください。（視聴できる単元等については事前にお知らせします）</li> <li>・テキストおよび配布プリントをもとに事前及び事後の学習を行い、各分野終了時にドリル・模擬問題を配布し提出してもらいます。</li> <li>・放課後等を利用し繰り返し実技練習を行うことで、介助時の留意点や根拠を理解し、基本となる介護技術の習得に努めてください。</li> </ul>		
<b>成績評価の方法〔評価項目と割合〕</b>		
定期試験	授業への取組み姿勢	提出書類
60%	20%	20%
<b>使用テキスト</b>		
書籍名	著者	出版社
最新 介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
クエスチョンバンク 介護福祉士国家試験問題解説 2022	医療情報科学研究所	メディックメディア
<b>参考書又は参考資料等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜、資料（プリント等）を配布する。</li> </ul>		
<b>その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前準備等があるため必ず時間厳守し、実習室や物品の使用方法を守ってください。</li> <li>・資料整理のためのファイルを用意してください。</li> </ul>		
<b>担当教員の連絡先等</b>		
担当教員 E-mail	その他	
hirofuji@hcc.ac.jp		

授 業 科 目 名	生活支援技術Ⅲ		
担 当 者 名	廣藤 智之	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2500025	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	通年
単 位 数	3	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援技術Ⅲの講義・演習は、介護老人保健施設および通所リハビリテーションでの職務経験を持つ教員が、対象者の能力を活用し、安全・安楽に配慮し、自立に向けた生活支援の基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。そのため介護福祉士に求められる役割と機能について理解し、専門職としての態度を養うこと、また各分野の介助技術の基本的な手順や留意点について講義で詳述し、さらにグループでの介助技術の演習および介助方法をディスカッションすることにより、その根拠を考察し理解を深めていく。</li> <li>「障害の理解」で学んだ知識を基に、運動機能障害、内部障害、知的・発達・精神障害等の各障害に応じて必要となる介護技術や介助時の留意点等を学んでいく。さらにグループワークを通し ICF の視点を生活支援に活かし、生活の豊かさや実践の根拠について説明できる能力を身につけるとともに、適切な介護技術を用いて安全・安楽に援助できる技術や知識および介護環境の工夫や福祉機器の活用法を学び、自立と健康を守る介助方法を習得する。</li> </ul>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原理原則に基づいた技術を習得したうえで、個別及び障害に応じた技術や、潜在能力を引き出した技術が実践できる。</li> <li>2. 障害をもつ方々が、生活を営む上でどのような不自由さを感じているか理解するとともに、それぞれの障害の特性に応じた生活支援を行うための知識・技術・および態度を養う。</li> <li>3. 自立支援に必要な介護の工夫や、適切な福祉用具の選択、活用方法について理解し説明できる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	自立に向けた排泄の介護 ・排泄介助（尿器・差し込み便器）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：排泄介助演習の振り返り、留意点等をまとめる（70分）	
2.	自立に向けた排泄の介護 ・排泄介助（ポータブルトイレ・障害者用トイレ）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：ポータブルトイレ介助の留意点等をまとめ、実技練習を行う（70分）	
3.	自立に向けた移動の介護 ・起居動作（一部・全介助）、水平・上方移動介助	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：起居動作介助の留意点等をまとめ、実技練習を行う（70分）	
4.	自立に向けた住環境の整備 ・シーツ交換	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：シーツ交換介助の留意点等をまとめ、実技練習を行う（70分）	
5.	自立に向けた移動の介護：意義と目的 ・車いす移乗介助（一部介助）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：車いす移乗介助の留意点等をまとめ、実技練習を行う（70分）	
6.	自立に向けた移動の介護 ・車いす移乗介助（全介助）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：車いす移乗介助の留意点等をまとめ、実技練習を行う（70分）	

7.	自立に向けた移動の介護：意義と目的 ・ストレッチャー移乗介助（全介助）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：ストレッチャー移乗介助の振り返り、留意点等をまとめる（70分）
8.	自立に向けた入浴・清潔保持の介護：意義と目的 ・部分浴の清潔介助（足浴）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：足浴介助の振り返り、留意点等をまとめる（70分）
9.	自立に向けた入浴・清潔保持の介護：意義と目的 ・部分浴の清潔介助（ベッド上の洗髪）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：洗髪介助の振り返り、留意点等をまとめる（70分）
10.	自立に向けた入浴・清潔保持の介護：意義と目的 ・部分浴の清潔介助（全身清拭）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：全身清拭介助の振り返り、留意点等をまとめる（70分）
11.	自立に向けた入浴・清潔保持の介護：意義と目的 ・入浴介助（機械浴）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：機械浴介助演習の振り返り、留意点等をまとめる（70分）
12.	休息・睡眠の介護：意義と目的 ・安楽体位と褥瘡の予防	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：安楽体位介助演習の振り返り、留意点等をまとめる（70分）
13.	休息・睡眠の介護：意義と目的 ・電法の介助	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：電法介助演習の振り返り、留意点等をまとめる（70分）
14.	人生の最終段階における介護：意義と目的 ・多職種連携と協働	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：他職種の業務内容および連携の必要性等をまとめる（70分）
15.	人生の最終段階における介護 ・終末期における介護技術（エンゼルケア技法）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：エンゼルケア演習の振り返り、留意点等をまとめる（70分）
16.	感染症予防について	事前：指定範囲（事前指示）を通読しておくこと（70分） 事後：感染症予防の振り返り、留意点等をまとめる（70分）
17.	肢体不自由に応じた介護① ・脊髄損傷について	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：脊髄損傷の要点・支援方法のポイントをまとめる（70分）
18.	肢体不自由に応じた介護② ・脳性麻痺について	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：脳性麻痺の要点・支援方法のポイントをまとめる（70分）
19.	視覚障害に応じた介護	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：視覚障害の要点・支援方法のポイントをまとめる（70分）
20.	聴覚障害に応じた介護	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：聴覚障害の要点・支援方法のポイントをまとめる（70分）
21.	言語障害に応じた介護	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：言語障害の要点・支援方法のポイントをまとめる（70分）

22.	重複障害（盲ろう）に応じた介護	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：重複障害の要点・支援方法のポイントをまとめる（70分）
23.	【内部障害】 心臓機能障害に応じた介護① ・心臓機能障害の理解等	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：心臓機能障害の要点をまとめる（70分）
24.	【内部障害】 心臓機能障害に応じた介護② ・観察の視点、支援の展開	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：心臓機能障害の支援方法のポイントをまとめる（70分）
25.	【内部障害】 呼吸機能障害に応じた介護① ・呼吸機能障害の理解等	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：呼吸機能障害の要点をまとめる（70分）
26.	【内部障害】 呼吸機能障害に応じた介護② ・観察の視点、支援の展開	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：呼吸機能障害の支援方法のポイントをまとめる（70分）
27.	【内部障害】 腎臓機能障害に応じた介護① ・腎臓機能障害の理解等	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：腎臓機能障害の要点をまとめる（70分）
28.	【内部障害】 腎臓機能障害に応じた介護② ・観察の視点、支援の展開	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：腎臓機能障害の支援方法のポイントをまとめる（70分）
29.	【内部障害】 膀胱・直腸機能障害に応じた介護① ・膀胱・直腸機能障害の理解等	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：膀胱・直腸機能障害の要点をまとめる（70分）
30.	【内部障害】 膀胱・直腸機能障害に応じた介護② ・観察の視点、支援の展開	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：膀胱・直腸機能障害の支援方法のポイントをまとめる（70分）
31.	【内部障害】 小腸機能障害に応じた介護	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：小腸機能障害の要点、支援方法のポイントをまとめる（70分）
32.	【内部障害】 HIVによる免疫機能障害に応じた介護	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：免疫機能障害の要点、支援方法のポイントをまとめる（70分）
33.	【内部障害】 肝臓機能障害に応じた介護① ・肝臓機能障害の理解等	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：肝臓機能障害の要点をまとめる（70分）
34.	【内部障害】 肝臓機能障害に応じた介護② ・観察の視点、支援の展開	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：肝臓機能障害の支援方法のポイントをまとめる（70分）
35.	内部障害についてのポイント整理	事前：指定範囲を復習し、課題（ドリル等）を解答すること（70分） 事後：課題の誤答を再度解答し、要点を整理する（70分）
36.	知的障害に応じた介護に応じた介護	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：知的障害の要点、支援方法のポイントをまとめる（70分）
37.	精神障害に応じた介護に応じた介護	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：精神障害の要点、支援方法のポイントをまとめる（70分）

38.	高次脳機能障害に応じた介護	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：高次脳機能障害の要点、支援方法のポイントをまとめる（70分）
39.	発達障害に応じた介護に応じた介護	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：発達障害の要点、支援方法のポイントをまとめる（70分）
40.	知的・発達・精神障害等についてのポイント整理	事前：指定範囲を復習し、課題（ドリル等）を解答すること（70分） 事後：課題の誤答を再度解答し、要点を整理する（70分）
41.	【難病】筋萎縮性側索硬化症（ALS）に応じた介護	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：ALSの要点、支援方法のポイントをまとめる（70分）
42.	【難病】パーキンソン病に応じた介護	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：パーキンソン病の要点、支援方法のポイントをまとめる（70分）
43.	【難病】悪性関節リウマチに応じた介護	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：悪性関節リウマチの要点、支援方法のポイントをまとめる（70分）
44.	【難病】筋ジストロフィーに応じた介護	事前：テキスト（事前指示）を通読し、プリントに記載すること（70分） 事後：筋ジストロフィーの要点、支援方法のポイントをまとめる（70分）
45.	難病についてのポイント整理	事前：指定範囲を復習し、課題（ドリル等）を解答すること（70分） 事後：課題の誤答を再度解答し、要点を整理する（70分）

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

- ・介護技術の手順、留意点、要点等について解説を加えた動画を配信しますので予習・復習に活用し覚えてください。（視聴できる单元等については事前にお知らせします）
- ・教科書をもとに事前及び事後の学習を行ってください。その際、「障害の理解」と関連付けながら勉強していくと整理しやすいため、各障害の特性や解剖・生理学を各自でまとめておいてください。
- ・障害に応じた介助技術習得のため、安全・安楽へ配慮し繰り返しの実技練習を行うとともに、その根拠を理解してください。

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

定期試験	レポート課題（提出物）	授業への取組み姿勢	
60%	20%	20%	

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
最新 介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
最新 介護福祉士養成講座 8 生活支援技術Ⅲ		
最新 介護福祉士養成講座 14 障害の理解		
クエスチョンバンク 介護福祉士国家試験問題解説 2022	医療情報科学研究所	メディックメディア

**参考書又は参考資料等**

- ・適宜、資料（プリント等）を配布する。

**その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕**

- ・資料整理のためのファイルを用意してください。
- ・各障害の正しい理解を基に、その障害に応じた介護や支援方法を学びます。そのため、基本と根拠を大切に、演習を通して介助手順、安全・安楽への留意点等を学び、さらに習得していくための繰り返しの復習（練習）を行って介護実習に臨んでください。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail	その他
hirofuji@hcc.ac.jp	



授 業 科 目 名	形態別介護技術(点字)		
担 当 者 名	尾形 満歳	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2500008	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	前期（全15回）
単 位 数	1	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	この授業では視覚特別支援学校教員の経験をもち、かつ介護福祉士の資格のある教員が、視覚がい害者の文字である点字の必要性和特性について学び、グループワークを通して基礎から応用へと段階的に学習を進める。授業の後半では、パソコンを利用した点字入力方法を学び、情報機器の進歩を知る。また視覚障がい疑似体験による歩行や、日常生活動作の演習、視覚に頼らない生活の知恵などを知ることで視覚障がい者への理解を深め、ディスカッションを行いながら高齢者施設での介護・支援の工夫や方法を考える。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1) 点字および点訳の知識と技術を習得し初歩的な点字の読み書きを習得する。 2) 視覚障がい者の特性を理解した上で、点字をコミュニケーションツールとして利用できるようになる。 3) 視覚障がい疑似体験で、視覚障がい者に対しての支援・介助の方法を習得する。 4) 点字や疑似体験を通して、高齢者施設で個人に応じた介助・支援を考えられるようになる。		
授 業 計 画		準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間	
1.	視覚障がい者とコミュニケーション …視覚障がい者の特性や点字の必要性について	事前：シラバスを熟読し視覚障がい者のことを想像してみる。 (20分) 事後：障がい者は、どんな種類に分けられているかを調べる。 (25分)	
2.	点字表記法①…点字の基礎、50音	事前：点字はどんな場所にあるのか調べる。(20分) 事後：点字の五十音（母音と子音）の読み書きを復習する。(25分)	
3.	点字表記法② …点字の基礎、濁音、半濁音、拗音	事前：点字表記表の濁点・半濁点・拗音を見ておく。(20分) 事後：濁点・半濁点・拗音の読み書きの復習をする。(25分)	
4.	点字表記法③…点字の構成（数字、英字）	事前：点字表記表の数字・英字を見ておく。(20分) 事後：数字・英字の読み書きの復習をする。(25分)	
5.	点字表記法④ …点字の構成（カッコなどの記号類）	事前：点字表記表のカッコなどの記号類を見ておく。(20分) 事後：カッコや記号のついた、文章を書いて復習する。(25分)	
6.	演習①視覚障がい疑似体験（歩行）グループで視覚障がい者の歩行の困難さと、介助で気を付けることを話し合う。	事前：見えない生活を想像し、全盲の方にどんな困難があるか考える。(20分) 事後：事前に想像していたことと、実際に疑似体験して感じたことをまとめる。(25分)	
7.	演習②視覚障がい疑似体験（弱視の日常生活動作）弱視の見え方の種類を体験し、見えにくさに応じた支援を考える。	事前：見えにくい生活を想像し、弱視の方にどんな困難があるか考える。(20分) 事後：事前に想像していたことと、実際に疑似体験して感じたことをまとめる。(25分)	

8.	点字表記法⑤ …点字の分かち書き（かな・英数の混じり文）	事前：これまでに学習した、点字のかな・英数の復習をしておく。 (20分) 事後：分かち書きした、短文を点字で書いてみる。(25分)
9.	点字表記法⑥ …前回までの表記法を利用し、文章を書く	事前：長い文章になった時の形式を教科書で見しておく。(20分) 事後：自分で五行以上の文章を点字で書いてみる。(25分)
10.	演習③…地図や絵等の触図を作成する。グループ でいろいろな手触りの違いを話し合い、触図の検討 をする。	事前：手触りの違う、身近な素材はどんなものがあるか考え準備し ておく。(20分) 事後：高齢者施設のどんな場面で、触察認知が利用できるか考える。 (25分)
11.	演習④…視覚障がい者が利用する施設の見学	事前：視覚障がい者が利用する施設を調べておく。(20分) 事後：見学して発見したこと、感じたことをまとめておく。(25分)
12.	演習⑤…視覚障がい者の遊び	事前：視覚障がい者は、どんな遊びができるか想像しておく。 (20分) 事後：体験した遊びから、高齢者施設でのレクの工夫を考える。 (25分)
13.	パソコンを利用した点訳①…点訳ソフトの基礎	事前：パソコンの基本操作を学習しておく。(20分) 事後：点字六点入力の指使いを復習する。(25分)
14.	パソコンを利用した点訳② …パソコン六点入力での文章作成	事前：点字での文章表記の規則を復習しておく。(20分) 事後：パソコンを使って点字の文章を書いてみる。(25分)
15.	パソコンを利用した点訳③…点訳資料の作成（点 訳資料課題の講評、まとめ）	事前：点字六点入力スムーズにできるよう練習しておく。(20分) 事後：点字文章の読み書きがスムーズにできるよう復習する。 (25分)

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

点字は積み重ねて学習するため、一回の欠席でかなり理解が遅れてしまいます。休まないようにしてください。

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

定期試験	演習体験レポート	毎時間の取り組み姿勢と課題
50%	20%	30%

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
初めての点訳 [第二版]	全国視覚障害者情報提供施設協会	全国視覚障害者情報提供施設協会

**参考書又は参考資料等**

特になし

**その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕**

演習・体験で学んだことを中心としたレポート提出があります。その都度、ノートにまとめておくようにしてください。講義の日程等は、オリエンテーション時に説明します。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail	その他
oga41mitsu@yahoo.co.jp	毎講義終了後、10分程度質問などの対応可。

授 業 科 目 名		福祉住環境論	
担 当 者 名		早川 智之	実 務 家 教 員
科 目 コ ー ド		2500009	授 業 形 態
学 年		1	開 講 期
単 位 数		2	履 修
ナンバリング		DP2-1-A	
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕		多様な障害を持つ者の生活環境についての理解を深める。その理解をもとに、障害者に対する具体的な生活環境支援の在り方等について学習する。	
授業の到達目標 〔学習成果〕		在宅環境の整備、構築という観点から、障害者や高齢者に対する生活支援の具体策を提示することができる。	
授 業 計 画		準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間	
1.	オリエンテーション（シラバスの説明、福祉住環境コーディネーターとは）	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
2.	在宅における環境整備の基礎	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
3.	生活行為別にみた福祉用具の活用（起居・就寝）	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
4.	生活行為別にみた福祉用具の活用（移動）	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
5.	生活行為別にみた福祉用具の活用（排泄、入浴、その他）	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
6.	福祉住環境整備の基本技術（段差）	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
7.	福祉住環境整備の基本技術（手すり）	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
8.	福祉住環境整備の基本技術（スペース）	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
9.	生活行為別福祉住環境整備の手法（アプローチ）	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	

10.	生活行為別福祉住環境整備の手法（屋内移動）	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）
11.	生活行為別福祉住環境整備の手法（トイレ）	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）
12.	生活行為別福祉住環境整備の手法（浴室、脱衣所）	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）
13.	福祉住環境に関わる職種と役割	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）
14.	福祉住環境コーディネーターの役割	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）
15.	まとめ	事前：教科書の該当箇所を通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

・事前学習で分からない箇所は授業で積極的に質問してください

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

レポート	小テスト及び課題	
70%	30%	

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
福祉住環境コーディネーター検定試験 3級公式テキスト		東京商工会議所

**参考書又は参考資料等**

・適宜資料を配布します

**その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕**

7～8月に実施される福祉住環境コーディネーター試験の勉強も合わせて進めて下さい

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail	その他
hayakawa@knwu.ac.jp	

授業科目名	家事の介護		
担当者名	田中 文佳・梅林 千恵子	実務家教員	○
科目コード	2500010	授業形態	講義・演習
学年	1	開講期	後期
単位数	2	履修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP2-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>1. 「生活」を構造的に捉え、人々の暮らしが衣食住及び家計経済、家族機能の連続かつ相互作用において形成されていることを理解する。また、個々人の生活を支える上で必要となる生活機能全般に関する基礎知識を習得する。</p> <p>2. 衣食住における安全で健康的な支援が、介護を必要とする方たちの ADL 及び QOL の維持、向上に深くかかわっていることを認識し、その具体的実践方法を習得する。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p>1. 生活設計に関する基礎知識が身についている。</p> <p>2. 五大栄養素や食事のバランスについて説明できる。</p> <p>3. 高齢者にふさわしい食事形態に留意でき、安全で衛生的な調理方法が理解できる。</p> <p>4. 被服機能の基礎知識及び洗濯等管理方法を説明できる。</p>		
授業計画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	（講義）家庭生活の理解と家庭を取り巻く社会状況 〔田中〕	事前：テキストの指定範囲を読んでおく（90分） 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する（90分）	
2.	（講義）食生活の基本知識、高齢者の食事への配慮 〔梅林〕	事前：テキストの指定範囲を読んでおく（90分） 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する（90分）	
3.	（講義）調理の基本について〔梅林〕	事前：テキストの指定範囲を読んでおく（90分） 事後：配布資料を熟読し演習の準備をしておく（90分）	
4.	（演習）調理実習：柔らかく食べやすい食事①粥〔梅林〕	事前：配布資料を読み、実習に臨む服装を準備する（90分） 事後：学習プリントに内容をまとめる（90分）	
5.	（演習）調理実習：柔らかく食べやすい食事②軟菜〔梅林〕	事前：配布資料を読み、実習に臨む服装を準備する（90分） 事後：演習を振り返り、課題レポートを作成する（90分）	
6.	（講義）生活設計の考え方（1）〔田中〕 家計における収入と支出	事前：テキストの指定範囲を読んでおく（90分） 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する（90分）	
7.	（講義）生活設計の考え方（2）〔田中〕 悪徳商法と消費者保護の法制度	事前：テキストの指定範囲を読んでおく（90分） 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する（90分）	
8.	（演習）確認作業：生活設計の考え方のまとめ（3） 〔田中〕 ① 家計の支出入の分類と計算 ② ②悪徳商法の事例検討	事前：確認テストの範囲を復習する（90分） 事後：確認テストを見直し内容を理解する（90分）	
9.	（講義）被服生活の基礎知識（1）〔田中〕 被服の機能、繊維の取り扱い表示（ISO表示）	事前：テキストの指定範囲及び学習プリントを読んでおく（90分） 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する（90分）	

10.	(講義)被服生活の基礎知識(2) [田中] 繊維の種類と特徴 被服の洗濯方法と洗剤の種類	事前: テキストの指定範囲及び学習プリントを読んでおく (90分) 事後: 自宅の洗剤等を確認し学習プリントに記入する (90分)
11.	(講義)被服生活の基礎知識(3) [田中] 高齢者の身体機能に応じた被服の工夫	事前: テキストの指定範囲及び学習プリントを読んでおく (90分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する(90分) 小テストの準備
12.	(演習)家事の実践[田中] ①掃除の方法(洗剤、掃除器具) ②洗濯 ③アイロンがけ	事前: 配布されている関連資料を読み演習の準備をする (90分) 事後: 演習を振り返り、課題レポートを作成する(90分)
13.	(講義)在宅生活を支える家事援助(1) [田中] 在宅家事の理解	事前: 配布されている関連資料を読んでおく(90分) 事後: 配布した資料を読み学習プリントに自分の考えを記入する(90分)
14.	(講義)在宅生活を支える家事援助(2) [田中] 多職種連携支援の実際	事前: 配布されている関連資料を読んでおく(90分) 事後: 配布した資料を読み学習プリントに自分の考えを記入する(90分)
15.	(演習)確認作業: まとめレポートの作成[田中]	事前: 確認テストに向けて内容の総復習をしておく (90分) 事後: 確認テストを見直し内容を理解する(90分)

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

- ・テキスト及び資料を熟読し、予習と復習を心掛けてください。
- ・演習のレポート及び自己学習プリントは成績評価に反映します。学習プリントは随時提出です。

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

定期試験	提出物	授業への取り組み姿勢	
40%	30%	30%	

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座6 生活支援技術I」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
「介護福祉士 国試ナビ2021」	いとう総研資格取得支援センター	中央法規

**参考書又は参考資料等**

「2022年版 介護福祉士国家試験問題解説クエスチョンバンク」「2022年版 介護福祉士過去&模擬問題集」

**その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕**

- ・調理実習及びその他演習のレポート課題は締め切りを厳守し、適宜提出してください。
- ・レポート、課題は確認の後に返却します。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail	その他
t.fumi@hcc.ac.jp	

授 業 科 目 名	介護過程 I		
担 当 者 名	廣藤 智之	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2500026	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	6	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程は利用者を主体とする生活支援活動の展開方法である。本科目の講義・演習は、介護老人保健施設および通所リハビリテーションでの職務経験を持つ教員が、他科目で学習した対人援助者としての専門的知識および技術を統合し、利用者を総合的に理解し適切な介護を実践するための思考過程を習得する学習とする。</li> <li>・利用者の望む生活の実現を支援するため課題と解決について、アセスメント、自立支援に沿った介護計画の立案・実施・評価、多職種協働によるチームアプローチの必要性について習得する。</li> <li>・さまざまな生活課題（ニーズ）に対しての解決策やサービス内容を、グループワークを通しディスカッションし、多角的な視点を育む。</li> </ul>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護（生活支援）の意義が理解でき、一連の介護過程の展開方法が説明できる。</li> <li>2. 生活上のニーズを把握するための情報収集、および課題抽出の方法を理解できる。</li> <li>3. 社会資源を活用し、介護、医療、保健との連携・協働を活かした介護実践計画を展 でける。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1. 介護過程の授業内容について （オリエンテーション）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：オリエンテーション用プリントを再読する		
2. 介護過程とは ① ・介護過程の意義・目的	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：介護過程の意義・目的の要点をまとめる		
3. 介護過程とは ② 介護過程の全体像	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：介護過程の展開の流れ（全体像）をまとめる		
4. 介護過程とは ③ ICIDH（国際障害分類）と ICF（国際生活機能分類）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：ICIDH と ICF の概念についてまとめる		
5. 介護過程とは ④ 介護過程と ICF（国際生活機能分類）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：ICF の生活機能モデル（図）をまとめる		
6. 生活支援における介護過程の必要性 ① ・生活支援における介護過程の意義	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：生活支援における介護過程の意義についてプリントを再読し理解する		
7. 生活支援における介護過程の必要性 ② ・介護過程と事例検討	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておくこと 事後：事例検討の具体的な方法・要点についてプリントを再読し理解する		
8. アセスメントの思考の方法、視点について	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：アセスメントの意義・目的をまとめる		
9. 介護過程の展開① （アセスメント・介護計画の立案）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：一連の介護過程の展開の流れを具体的にまとめる		
10. 介護過程の展開② （介護の実施・評価）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：一連の介護過程の展開の流れを具体的にまとめる		
11. アセスメント（情報収集） ① ・情報収集の意義	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：情報収集の意義について要点をまとめる		

12.	アセスメント（情報収集）② ・アセスメントと情報収集	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：アセスメントにおける情報収集の具体的内容をまとめる
13.	アセスメント（情報収集）② ・情報収集の方法（ICFモデルの活用）	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：情報収集の方法・留意点をまとめる
14.	事例Aの介護過程の展開方法について ・アセスメント用紙（情報収集）の記載	事前：アセスメント用紙の現状の情報の具体的内容を確認しておく 事後：情報の記載方法の確認を行う
15.	事例Aの現状の情報整理①（GW） ・食事、排泄の情報収集の内容等	事前：事例Aの食事・排泄の情報を記載しておく 事後：講義で追加された情報を、清書用のアセスメント用紙に整理する
16.	事例Aの現状の情報整理②（GW） ・移乗・移動、コミュニケーションの情報収集の内容等	事前：事例Aの移乗・移動、コミュニケーションの情報を記載しておく 事後：講義で追加された情報を、清書用のアセスメント用紙に整理する
17.	事例Aの現状の情報整理③（GW） ・入浴・清潔保持、身じたくの情報収集の内容等	事前：事例Aの入浴・清潔保持、身じたくの情報を記載しておく 事後：講義で追加された情報を、清書用のアセスメント用紙に整理する
18.	事例Aの現状の情報整理④（GW） ・睡眠、精神・行動障害、豊かさの情報収集の内容等	事前：事例Aの睡眠、精神・行動障害、豊かさの情報を記載しておく 事後：講義で追加された情報を、清書用のアセスメント用紙に整理する
19.	アセスメント（解釈・関連づけ・統合化）① ・情報の解釈・関連づけ・統合化とは	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：情報の解釈・関連づけ・統合化についてプリントを再読し理解する
20.	アセスメント（解釈・関連づけ・統合化）② ・生活課題の明確化とは	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：生活課題の明確化についてプリントを再読し理解する
21.	事例Aの介護過程の展開方法について（GW） ・アセスメント用紙（解釈・関連づけ・統合化）記載	事前：事例Aの解釈・関連づけ・統合化を考え記載しておく 事後：講義内容を、清書用のアセスメント用紙に整理する
22.	介護実習I-Aでの介護過程の展開について	事前：介護実習I-Aにおける介護過程の必要事項をまとめておく 事後：介護実習I-Aの介護過程の展開（課題）内容を再確認する
23.	介護実習I-Aでの介護過程の展開の振り返り	事前：介護実習I-Aにおける介護過程での学びや課題をまとめておく 事後：発表や質疑応答から、自己の課題および今後の対策を考察する
24.	事例Aの介護過程の展開方法について ・アセスメント用紙（生活課題・ニーズ）記載	事前：事例Aの生活課題・ニーズを考え記載しておく 事後：講義内容を基に、清書用のアセスメント用紙に整理する
25.	介護計画の立案① ・介護計画とは	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：介護計画の内容についてプリントを再読し理解する
26.	介護計画の立案② ・長期目標の設定について	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：長期目標の設定についてプリントを再読し要点をまとめる
27.	介護計画の立案③ ・短期目標の設定について	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：短期目標の設定についてプリントを再読し要点をまとめる
28.	介護計画の立案④ ・具体的な支援内容・支援方法の決定について	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：具体的な支援内容・方法についてプリントを再読し要点をまとめる



29.	事例 A の介護過程の展開方法について ・介護計画の立案	事前：事例 A の介護計画を立案し記載しておく 事後：講義内容を基に、介護計画書に整理する
30.	介護の実施 ① ・介護の実施とは	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：介護の実施についてプリントを再読し理解する
31.	介護の実施 ② ・実施における留意点	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：実施における留意点について要点をまとめる
32.	介護の実施 ③ ・実施の記録	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：実施の記録についてプリントを再読し理解する
33.	介護実習 I - B での介護過程の展開について	事前：介護実習 I - B における介護過程の必要事項をまとめておく 事後：介護実習 I - B の介護過程の展開（課題）内容を再確認する
34.	介護実習 I - B での介護過程の展開の振り返り	事前：介護実習 I - B における介護過程での学びや課題をまとめておく 事後：発表や質疑応答から、自己の課題および今後の対策を考察する
35.	介護実習 I - B 対象者のアセスメント内容確認	事前：介護実習 I - B の対象者のアセスメント記入内容を確認しておく 事後：介護計画立案における準備（生活課題・目標・支援内容等）を考える
36.	介護実習 I - B 対象者の介護計画の立案（GW）	事前：介護計画を立案しておく 事後：GW で出された意見を基に、介護計画の修正を行う
37.	評価 ① ・評価の意義と目的	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：評価の意義と目的についてプリントを再読し理解する
38.	評価 ② ・評価の内容と方法	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：評価の内容と方法について要点をまとめる
39.	評価 ③ 介護計画修正の必要性	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：介護計画修正の必要性について要点をまとめる
40.	介護実習 I - B 対象者の介護計画の実施記録作成（仮定）	事前：実施の記録についてプリントを再読しておく 事後：講義での実施記録の個別指導の内容を整理し記載する
41.	介護実習 I - B 対象者の介護計画の評価作成（仮定）	事前：実施の評価についてプリントを再読しておく 事後：講義での評価の個別指導の内容を整理し記載する
42.	介護過程とケアマネジメント ① ・ケアマネジメントの全体像	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：ケアマネジメントの全体像についてプリントを再読し理解する
43.	介護過程とケアマネジメント ② ・ケアプランと個別援助計画の関係性	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：ケアプランと個別援助計画の関係性について要点をまとめる
44.	チームアプローチにおける介護福祉士の役割 ① ・チームアプローチの意義	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：チームアプローチの意義についてプリントを再読し理解する
45.	チームアプローチにおける介護福祉士の役割 ② ・チームアプローチの実際	事前：テキスト等の指定範囲（事前指示）を通読しておく 事後：チームアプローチの実際についてプリントを再読し理解する

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

・単元（若しくは授業）の終わりに、要点（まとめ）を伝えますので、各自で要点用のファイルを作成してください。  
 ・授業ファイルおよび要点用ファイルは定期的に提出し内容を確認し返却します（必要に応じ、個別指導を行います）。  
 ・テキストをもとに事前及び事後の学習をし、3 回の介護実習を通して段階的に介護過程の意義や重要性が理解できるように授業を展開していきます。実習中に担当利用者（アセスメント対象者）について、総合的に理解できるよう、疾患の特徴や必要な支援・留意点等を自ら調べたり、職員や教員に質問したりすることで、生活課題および適切な支援方法を考えてください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕		
定期試験	提出物（アセスメントシート等）	授業への取り組み姿勢
50%	30%	20%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
最新 介護福祉士養成講座 9 介護過程	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
クエスチョンバンク 介護福祉士国家試験問題解説 2022	医療情報科学研究所	メディックメディア
参考書又は参考資料等		
・適宜、資料（プリント等）を配布する。		
その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントを配布するため、授業ファイルを作成してください。</li> <li>・介護実習と連動して授業展開していきます。提出物の期日は厳守してください。</li> <li>・提出物（アセスメント用紙・介護計画書等）は添削・校正を行い返却します。介護実習での一連の介護過程の展開の参考にしてください。</li> <li>・情報収集やアセスメントは、「その人らしい生活を支援する」ために必要なものです。介護実習で得た個人情報等について守秘義務があることを絶対に忘れないでください。</li> </ul>		
担当教員の連絡先等		
担当教員 E-mail	その他	
hirofuji@hcc.ac.jp		

授 業 科 目 名	介護過程Ⅱ		
担 当 者 名	廣藤 智之	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2500027	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	後期
単 位 数	4	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP2-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程は利用者を主体とする生活支援活動の展開方法である。本科目の講義・演習は、介護老人保健施設および通所リハビリテーションでの職務経験を持つ教員が、他科目で学習した専門的知識・技術を統合し、利用者の全体像を理解することで、個々の利用者への適切な介護実践に結び付けるための思考過程を習得する学習とする。</li> <li>・チームアプローチの重要性と介護福祉士として求められる専門性の自覚、専門職としてのアイデンティティの確立を目指し、問題解決の思考過程を養う講義・演習を実施する。</li> <li>・介護保険制度における「ケアマネジメント」（ケアプラン）と、介護福祉職が実践する「介護過程の展開（介護計画）」の違いについて論理的に説明できるように学習していく。</li> <li>・実際の介護過程の展開を通して、個別支援の重要性、その人らしさを大切にした ICF の視点を取り入れた支援方法の模索をグループワークやカンファレンスを通して、広い視点で捉えられるように授業を展開し、事例研究発表（プレゼンテーション）を行う。</li> </ul>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一連の介護過程の展開により、介護の意義が理解でき一連の過程を説明できる。</li> <li>2. 社会資源を活用し、介護、医療、保健との連携・協働を活かした介護計画を展開できる。</li> <li>3. 介護過程を学ぶ最終段階として、介護実習Ⅱで実践した一連の介護過程の展開を通し、利用者のニーズに沿った介護について理論と実習体験を関連づけて整理を行う。それらを ICF の視点から論理的に発表できるよう事例研究としてまとめ、プレゼンテーションできる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	事例研究の書き方について① (事例研究の意義・目的)	事前：過去の事例研究（プリント）を通読する 事後：研究の意義・目的を理解できるよう復習を行う	
2.	事例研究の書き方について② (事例研究作成スケジュール・書式)	事前：過去の事例研究（プリント）を通読し、書式・構成を理解する 事後：事例研究を視野に入れ、介護実習Ⅱでの介護過程の展開方法を考える	
3.	事例研究の書き方について③ (PowerPoint 作成方法)	事前：過去の PowerPoint（プリント）を通読しておく 事後：PowerPoin と事例研究の内容を比較し、作成 PP の構成を考える	
4.	事例研究の書き方について④ (事例研究のプレゼンテーション方法)	事前：過去の PowerPoint（プリント）を通読し、事例研究と比較する 事後：デモンストレーションを聞き、自分のプレゼン内容や方法を考える	
5.	介護実習Ⅱでの介護過程の展開について	事前：介護実習Ⅱにおける介護過程の必要事項をまとめておく 事後：介護実習Ⅱの介護過程の展開（課題）内容を再確認する	

6.	介護実習Ⅱでの介護過程の展開の振り返り	事前：介護実習Ⅱにおける介護過程での学びや課題をまとめておく 事後：各学生の発表から、自己の課題および今後の対策を考察する
7.	介護実習Ⅱ対象者のICFへの転換	事前：ICFの生活機能モデル（図）の復習を行っておく 事後：介護実習Ⅱ対象者の情報をICFの6項目に分類し記入する
8.	事例研究 第1稿作成（Word入力）① ・フェイスシート、アセスメント	事前：入力するフェイスシート、アセスメントの内容をまとめておく 事後：授業内で入力できなかった内容は、指定日までに入力を終わらせる
9.	事例研究 第1稿作成（Word入力）② ・介護計画、実施記録	事前：入力する介護計画・実施記録の内容をまとめておく 事後：授業内で入力できなかった内容は、指定日までに入力を終わらせる
10.	事例研究 第1稿作成（Word入力）③ ・考察、まとめ	事前：入力する考察・まとめの内容をまとめておく 事後：授業内で入力できなかった内容は、指定日までに入力を終わらせる
11.	事例研究 第2稿作成（Word入力）④ ・添削・校正	事前：事例研究をプリントアウトし各自確認後、提出する 事後：教員の添削・校正後、指定日までに再入力し提出する
12.	事例研究 ・PowerPoint作成	事前：事例研究を基にPowerPointを作成しておく 事後：授業内で入力できなかった内容は、指定日までに入力を終わらせる
13.	事例研究発表会準備 ・発表の方法・進行等について	事前：PowerPoint（プリント）を基にプレゼンテーションを練習しておく 事後：教員の助言・指導内容を参考にプレゼンテーションを練習しておく
14.	事例研究発表会（プレゼンテーション）① ・前半の学生の事例発表、及び質疑応答	事前：プレゼンテーションを練習し、他学生の質問を考えておく 事後：自己のプレゼンテーションを振り返り課題をまとめる
15.	事例研究発表会（プレゼンテーション）② ・後半の学生の事例発表、及び質疑応答	事前：プレゼンテーションを練習し、他学生の質問を考えておく 事後：自己のプレゼンテーションを振り返り課題をまとめる
16.	記録の種類と方法について ・ケアプランと個別援助計画の関係性（復習）	事前：ケアプランと個別援助計画の関係性について復習を行っておく 事後：フィールドワークの流れを確認し、質問等を考えておく
17.	居宅介護支援事業者見学（フィールドワーク）① ・介護支援専門員からの説明	事前：居宅介護支援事業者の役割および質問等をまとめておく 事後：フィールドワークからの学びをレポートとして提出する

18.	居宅介護支援事業者見学（フィールドワーク）② ・質疑応答等	事前：居宅介護支援事業者の役割および質問等をまとめておく 事後：フィールドワークからの学びをレポートとして提出する
19.	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開 ① ・感染性疾患のある利用者の生活支援	事前：テキスト等の指定範囲（事例①）を通読しておく 事後：事例の内容からカンファレンス（KJ法）の準備を行う
20.	①の事例に対するカンファレンス	事前：進行・議事録役等を選出し、カンファレンス（KJ法）の準備を行う 事後：カンファレンスから得られた気づき、学びをまとめる
21.	①の事例に対する発表	事前：発表の準備を行う 事後：発表から得られた気づき、学びをまとめる
22.	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開 ② ・在宅でターミナルを迎える高齢者と家族の生活支援	事前：テキスト等の指定範囲（事例②）を通読しておく 事後：事例の内容からカンファレンス（KJ法）の準備を行う
23.	②の事例に対するカンファレンス	事前：進行・議事録役等を選出し、カンファレンス（KJ法）の準備を行う 事後：カンファレンスから得られた気づき、学びをまとめる
24.	②の事例に対する発表	事前：発表の準備を行う 事後：発表から得られた気づき、学びをまとめる
25.	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開 ③ ・医療的な処置が必要な高齢者の生活支援	事前：テキスト等の指定範囲（事例③）を通読しておく 事後：事例の内容からカンファレンス（KJ法）の準備を行う
26.	③の事例に対するカンファレンス	事前：進行・議事録役等を選出し、カンファレンス（KJ法）の準備を行う 事後：カンファレンスから得られた気づき、学びをまとめる
27.	③の事例に対する発表	事前：発表の準備を行う 事後：発表から得られた気づき、学びをまとめる
28.	3事例に対するまとめ、発表	事前：3事例に対する気づき、学びをまとめ発表の準備を行う 事後：発表から得られた気づき、学びをまとめる
29.	介護職実践セミナー（事例研究発表会）① ・他養成校学生の事例研究発表	事前：プレゼンテーションを練習し、他学生の質問を考えておく 事後：各学生のプレゼンテーションを振り返り課題をまとめる
30.	介護職実践セミナー（事例研究発表会）② ・質疑応答、情報交換会	事前：プレゼンテーションを練習し、他学生の質問を考えておく 事後：各学生のプレゼンテーションを振り返り課題をまとめる

#### 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・ 単元（若しくは授業）の終わりに、要点（まとめ）を伝えますので、各自で要点用のファイルを作成してください。
- ・ 授業ファイルおよび要点用ファイルは定期的に提出し内容を確認し返却します（必要に応じ、個別指導を行います）。
- ・ 実習での実践内容を必ず記録し、メモについても残しておいてください。
- ・ 学内および他養成校との事例研究発表を行う予定にしているため、日頃の授業でのグループワーク、カンファレンス等の機会を大切に、プレゼンテーション力の向上に努めてください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕		
介護過程事例研究レポート	提出物（アセスメントシート等）	授業への取組み姿勢
70%	20%	10%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
最新 介護福祉士養成講座 9 介護過程	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
クエスチョンバンク 介護福祉士国家試験問題解説 2022	医療情報科学研究所	メディックメディア
参考書又は参考資料等		
・適宜、資料（プリント等）を配布する。		
その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業ファイルを作成してください。</li> <li>・アセスメント用紙、介護計画書等、書類の提出物の期日は厳守してください。</li> <li>・提出物（アセスメント用紙・介護計画書・事例研究レポート等）は添削・校正を行い返却します。</li> <li>・情報収集やアセスメントは、「その人らしい生活を支援する」ために必要なものです。介護実習で得た個人情報等に実習中のみならず、卒業後も守秘義務があることを絶対に忘れないでください。</li> </ul>		
担当教員の連絡先等		
担当教員 E-mail	その他	
hirofuji@hcc.ac.jp		

授 業 科 目 名	介護総合演習 I		
担 当 者 名	田中 文佳	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2500028	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	1	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	介護実習施設の概要を理解し、実習に出向く心構えや基礎知識の学習、学びの視点等を深める。また、生活支援技術やコミュニケーション技術、こころとからだ等他の教科を融合しながら、介護を必要とされる方々の個別支援に必要なケアのあり方について自ら考える力を培う。グループワーク、個別課題、実習報告会への取り組みを通して専門職意識の向上を目指す。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護福祉士養成教育における実習の意義・目的を説明できる。</li> <li>2. 介護を必要とされる方に寄り添い、利用者理解に努めることができる。</li> <li>3. 介護福祉士の役割と業務内容について説明できる。</li> <li>4. 実習生として必要な礼儀、学ぶ態度、コミュニケーション能力、記録の記載、「報告・連絡・相談」等の社会性を習得する。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	介護総合演習の位置づけと目的	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(30分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(30分)	
2.	介護実習 I の目的と内容	事前：テキストの指定範囲及び配布資料を読んでおく(30分) 事後：テキスト、資料を参考に学習プリントに記入する(30分)	
3.	事前学習の意義と目的 介護実習開始までの流れと事前学習	事前：テキストの指定範囲及び配布資料を読んでおく(30分) 事後：テキスト、資料を参考に学習プリントに記入する(30分)	
4.	書類の作成と準備について (個人票・実習計画書・オリエンテーション準備ほか)	事前：資料を読み、必要物品を準備する(30分) 事後：実習提出書類を作成する(30分)	
5.	介護実習記録の書き方（1）記録の際の留意事項	事前：テキストと資料を読み、記録の書き方の概要を理解しておく(30分) 事後：資料を参考に記録の一例を作成する(30分)	
6.	介護実習記録の書き方（2）評価、考察の書き方	事前：資料を読み、考察の書き方を再度確認する(30分) 事後：資料を参考に記録（考察）の一例を作成する(30分)	
7.	介護保険制度と介護実習の種類 実習先の特徴と学ぶべきポイント	事前：テキストの指定範囲と配布資料を読んでおく(30分) 事後：テキストと配布資料を参考に学習プリントに記入する(30分)	
8.	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の概要（視聴覚教材）	事前：テキストの指定範囲との手引きを読んでおく(30分) 事後：実習の注意事項について学習プリントに記入する(30分)	
9.	介護実習 I -A の事前指導	事前：テキストの指定範囲と配布資料を読んでおく(30分) 小テストの準備 事後：テキストと配布資料を参考に学習プリントに記入する(30分)	
10.	介護実習 I -A の事後指導 介護実習 I -A 報告書の作成	事前：実習の課題（日誌、レクリエーション活動計画書等）を準備する(30分) 事後：教員の個別実習事後指導をまとめ報告書の作成に取り組む(30分)	

11.	レクリエーション活動について (計画書の作成と準備)	事前：レクリエーション活動の種類について調べておく (30分) 事後：レクリエーション活動の計画書を作成する(30分)
12.	介護老人保健施設の概要	事前：テキストの指定範囲と配布資料を読んでおく(30分) 小テストの準備 事後：テキストと配布資料を参考に学習プリントに記入する(30分)
13.	介護実習 I - B の事前指導	事前：テキストの指定範囲との手引きを読んでおく(30分) 事後：実習の注意事項について学習プリントに記入する(30分)
14.	介護実習 I - B の事後指導 実習後指導 自己評価・実習報告書の作成	事前：実習の課題（日誌、レクリエーション活動計画書等）を準備する(30分) 事後：教員の個別実習事後指導をまとめ報告書の作成に取り組む(30分)
15.	介護実習 実習 I 報告会 まとめ	事前：配布資料を読み、自分の考えをまとめておく(30分) 事後：実習全体の振り返りと自己評価を学習プリントに記入する(30分)

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

- ・既得した基礎的介護技術は実習室等を利用し自主的に復習に取り組み、実習先での応用実践につなげてください。
- ・実習現場ではレクリエーションを実践する機会がありますので、高齢者や介護が必要な方々に適した造形、音楽、体操等を事前に調べ、準備をしてください。
- ・実習記録の記載に向け、日頃から活字を読み、論理的な文章の組み立てを意識してください。

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

定期試験	提出物	授業への取り組み姿勢	
50%	30%	20%	

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規

**参考書又は参考資料等**

介護実習の手引き（東筑紫短期大学専攻科(介護福祉専攻)）

**その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕**

- ・課題やレポート等の提出物は、適宜、提出期日を厳守して提出してください。
- ・提出物は確認、解説の後に返却します。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail	その他
t.fumi@hcc.ac.jp	



授 業 科 目 名	介護総合演習Ⅱ		
担 当 者 名	田中 文佳	実 務 家 教 員	
科 目 コ ー ド	2500029	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	後期
単 位 数	1	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	この教科では、介護実習Ⅱの実習前準備と確認作業及び実習後の評価とまとめを行う。授業では、既得した学習内容を融合し、保健、医療、福祉の分野における介護福祉士の役割と独自性を明確に理解できることを目指す。また、理論的根拠に基づく実践、記録の記載の習得に向けて、グループワークや事例研究に取り組む。実習終了後にはパワーポイント資料による実習報告会を実施する。様々な事例や意見交換を通して介護福祉実践に必要な多角的視点を養う。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護過程の展開に向けた理論的根拠に基づく利用者理解ができる。</li> <li>2. 多職種連携によるチームアプローチの重要性を認識し、介護福祉士の専門性と役割を理解できる。</li> <li>3. 正確かつ根拠に基づく記録ができる。</li> <li>4. 実習の振り返りや報告書(資料)の作成、研究発表を通して、専門性と職業倫理を習得する。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	介護実習Ⅱの目的と内容	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(30分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(30分)	
2.	多様な介護福祉の現場について	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(30分) 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(30分) 小テストの準備	
3.	介護老人保健施設の概要	事前：テキストの指定範囲を読んでおく(30分) 小テストの準備 事後：テキストを参考に学習プリントに記入する(30分)	
4.	介護実習Ⅱの実習前指導 演習(グループワーク)事例検討	事前：テキスト、資料を読んでおく(30分) 事後：テキスト、資料を参考に学習プリントに記入する(30分)	
5.	書類の作成と準備について (個人票・実習計画書・オリエンテーション準備ほか)	事前：資料を読み、必要物品を準備する(30分) 事後：実習提出書類を作成する(30分)	
6.	時間外勤務、夜間勤務の概要 多職種連携の具体的実践例	事前：テキストの指定範囲と配布資料を読んでおく(30分) 事後：テキストと配布資料を参考に学習プリントに記入する(30分)	
7.	実習帰校日：実習前半の評価、介護過程の指導	事前：実習前半の日誌と介護過程の課題をまとめておく(30分) 事後：教員からの指導をまとめ介護過程の見直し作業を行う(30分)	
8.	実習帰校日：実習前半の評価、介護過程の指導	事前：実習前半の日誌と介護過程の課題をまとめておく(30分) 事後：教員からの指導をまとめ介護過程の見直し作業を行う(30分)	
9.	介護実習Ⅱの実習後指導 演習(グループワーク)事例検討	事前：実習の課題（日誌、レクリエーション活動計画書等）を準備する(30分) 事後：教員からの指導をまとめ各用紙に記録する(30分)	
10.	自己評価表及び報告書の作成	事前：事前に配布された評価表を記入しておく(30分) 事後：教員の個別実習事後指導の内容を学習プリントに記入する(30分)	

11.	報告書・パワーポイント資料の作成	事前：指定用紙に報告書を作成する(30分) 事後：教員の指導内容をもとに報告書を修正する(30分)
12.	報告書・パワーポイント資料の作成	事前：各自の報告会のテーマに沿った報告資料を作成する(30分) 事後：教員の指導内容をもとに報告資料を修正する(30分)
13.	報告書・パワーポイント資料の作成 発表の準備	事前：各自の報告会のテーマに沿った報告資料を作成する(30分) 事後：教員の指導内容をもとに報告資料を修正、完成する(30分)
14.	実習報告会	事前：発表の練習、準備をしておく(30分) 事後：発表を振り返り、評価した内容を学習プリントに記入する(30分)
15.	介護実習全体の振り返りとまとめ	事前：配布資料を読み、自分の考えをまとめておく(30分) 事後：実習全体の振り返りと自己評価を学習プリントに記入する(30分)

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

- ・既得した基礎的介護技術は実習室等で自主的に復習し、実習先での実践応用につなげてください。
- ・実習現場では、レクリエーションを実践する機会がありますので、介護が必要な方々に適した造形、音楽、体操等を事前に調べ、準備をしてください。
- ・実習記録の記載に向けて日頃から活字を読み、論理的な文章の組み立てを意識してください。

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

発表（研究発表）	提出物	授業への取り組み姿勢
50%	30%	20%

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規

**参考書又は参考資料等**

介護実習の手引き（東筑紫短期大学専攻科（介護福祉専攻））

**その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕**

- ・提出物及び実習報告（発表）は成績評価に大きく反映しますので実直に取り組んでいきましょう。
- ・提出物は確認、解説の後に返却します。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail	その他
t.fumi@hcc.ac.jp	

授 業 科 目 名	介護実習 I		
担 当 者 名	田中 文佳・久門 裕子・廣藤 智之	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2500015	授 業 形 態	実習
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	3	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	多様な介護福祉サービスに対応できる介護福祉士の育成を目指し、5日間と10日間に分けて2種の介護福祉現場に出向く。介護を必要とされる方々の様々な暮らしの場を認識し、介護福祉士の役割と業務内容を理解する。介護の基本、生活支援技術、コミュニケーション技術、こころとからだのしくみ等を融合する総合学習の場として、基礎知識・技術の確認を目指す。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護を必要とされている方々を理解する多角的な視点を養い、生活支援における尊厳の保持と自立支援の理念の重要性を理解できる。</li> <li>2. 介護福祉士の役割と業務内容を説明できる。</li> <li>3. 介護福祉の様々な暮らしの場を認識し、実習施設や事業所等の概要と機能を説明できる。</li> <li>4. 安全かつ快適な介護技術を体験する。</li> <li>5. 一人ひとりの個別のニーズを洞察しながら介護過程におけるアセスメントが実践できる。</li> </ol>		
授 業 計 画	〔学外実習の内容含む〕		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>実習区分</b> 〔5日間〕            施設種別 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）            実習期間 前期 【5日間】 5月24日（月）～5月28日（金）            実習目標  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症対応型共同生活介護の機能と役割を理解する。</li> <li>2. 介護福祉士の役割を認識し、業務内容を把握する。</li> <li>3. 認知症の諸症状の理解に努め、コミュニケーションや介護技術の体験を通して認知症の方々への支援のあり方を学ぶ。</li> <li>4. 日々の目標を明確にし、理論的根拠に基づく実習記録の作成に努める。</li> </ol> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>実習区分</b> 〔10日間〕            施設種別 介護老人保健施設            実習期間 前期 【10日間】 7月5日（月）～7月16日（金）            実習目標  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護老人保健施設の機能と役割を認識し、尊厳の保持と自立を支援した個別ケアの実際を学ぶ。</li> <li>2. 個々の要介護者に応じた安心、安全かつ根拠のある介護技術の重要性を理解し、見学または体験をする。</li> <li>3. 介護過程の情報収集及びアセスメントを実践する。</li> <li>4. 多職種連携の重要性を理解する。</li> </ol> </div>			
<b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b>			
・施設オリエンテーションへの参加及び事後報告を行う。			

<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習記録、介護過程の課題など、提出物の日時は厳守する。</li> <li>・実習に相応しい服装、髪型、化粧を心掛ける。</li> <li>・既得した基礎的介護技術は実習室等を利用して自主的に復習に取り組み、実習先での実践、応用につなげてください。</li> <li>・実習現場では、レクリエーションを実践する機会がありますので、高齢者や介護が必要な方々に適した造形、音楽、体操等を調べ、事前に準備をしてください。</li> </ul>		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕		
実習施設の評価	提出物	実習に対する取り組み・姿勢
60%	20%	20%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考書又は参考資料等		
介護実習の手引き（東筑紫短期大学専攻科(介護福祉専攻)）		
その他〔実習に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習日誌及び課題は、提出期限を厳守し提出してください。成績評価に反映します。</li> <li>・提出物は確認、解説の後に返却します。</li> </ul>		
担当教員の連絡先等		
担当教員 E-mail	その他	
t.fumi@hcc.ac.jp（田中）		
hirofuji@hcc.ac.jp（廣藤）		
hisakado@hcc.ac.jp（久門）		

授 業 科 目 名	介護実習Ⅱ		
担 当 者 名	田中 文佳・久門 裕子・廣藤 智之	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2500016	授 業 形 態	実習
学 年	1	開 講 期	後期
単 位 数	4	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	介護保険施設（介護老人福祉施設）において実習を 20 日間実施する。個々の利用者の心身の状況に応じた安心・安全、快適な介護技術の実践、個別支援計画の立案と実施（介護過程の展開）、多職種との連携、時間外勤務（夜勤等）の体験を通し、既得した知識と技術を総合しながら実践力の習得を目指す。実習期間中に帰校日を設け、実習目標の達成度や介護過程の進捗状況等の確認、指導を行う。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 尊厳の保持と自立の支援を土台とした利用者理解にのぞみ、個別ケアの視点のもと介護過程の一連の展開を習得する。(情報収集及びアセスメント、立案、プランの実施、評価)</li> <li>2. 他職種の専門領域を理解し、介護福祉士としての専門性や職業倫理を念頭に置きながらチームアプローチを実践できる。</li> <li>3. 利用者の方々や家族とのかかわりを通して介護福祉業務のやりがいや社会貢献の意義を見出し、介護福祉士の専門職意識を形成する。</li> </ol>		
授 業 計 画 〔学外実習の内容含む〕			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">実習区分 〔20 日間〕</div> <p>施設種別 介護老人福祉施設  実習期間 後期 〔20 日間〕 9 月 21 日（火）～ 10 月 16（土）  中間帰校日：登校して実習前半の振り返りと後半の目標設定の評価、修正を行う。  また、介護過程の展開に関して担当教員とともに検証する</p> <p>実習目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一人の利用者を受け持ち、介護過程を展開する実践能力を養う。</li> <li>2. 個々の要介護者の方々に応じた安全な介護技術、個別ケアの展開方法を習得する。</li> <li>3. 夜勤や変則勤務実習を通して日中以外の利用者の様子を理解と介護福祉士の夜勤業務を体験する。</li> <li>4. 他職種の役割や業務内容を学び、多職種連携によるチームアプローチの重要性が理解できる。</li> </ol> <p>※ 実習期間中は実習担当教員が 1 週間に一度訪問指導を行う。</p>			
準備学習・事後学習等についての補足説明			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設オリエンテーションへの参加及び事後報告を行う。</li> <li>・実習記録、介護過程の課題など、提出物の日時は厳守する。</li> <li>・実習に相応しい服装、髪型、化粧を心掛ける。</li> <li>・既得した基礎的介護技術は実習室等を利用して自主的に復習に取り組み、実習先での実践、応用につなげてください。</li> <li>・実習現場では、レクリエーションを実践する機会がありますので、高齢者や介護が必要な方々に適した造形、音楽、体操等を事前に調べ、準備をしてください。</li> </ul>			

成績評価の方法〔評価項目と割合〕		
実習施設の評価	提出物	実習に対する取り組み・姿勢
60%	20%	20%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
参考書又は参考資料等		
介護実習の手引き（東筑紫短期大学専攻科(介護福祉専攻)）		
その他〔実習に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習日誌及び課題は、提出期限を厳守し提出してください。成績評価に反映します。</li> <li>・提出物は確認の後に返却します。</li> </ul>		
担当教員の連絡先等		
担当教員 E-mail	その他	
t.fumi@hcc.ac.jp（田中） hirofuji@hcc.ac.jp（廣藤） hisakado@hcc.ac.jp（久門）		

授 業 科 目 名	発達と老化の理解		
担 当 者 名	久門 裕子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2500017	授 業 形 態	講義
学 年	1	開 講 期	後期
単 位 数	2	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP3-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化及び老化が生活に及ぼす影響を理解し、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎知識を学ぶことを目的とする。授業は、講義を中心とし、グループワークを通し、高齢者の理解を深めていく。 *この講義は、看護師としての臨床および看護管理者の経験をいかし、授業をすすめる*		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1. 人間の成長と発達の観点から老化を理解することができる。 2. 老化に伴う心理や身体的機能の変化及びその特徴に関する基礎的な知識を理解することができる。 3. 老年期の今日の課題を理解することができる。		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	人間の成長と発達の基礎知識：成長・発達の原則、法則	事前：成長・発達の原則・法則について通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイント（成長・発達）についてまとめること（90分）	
2.	人間の成長と発達の基礎知識：器官・臓器による成長、発達の違いを学ぶ、グループワーク	事前：GW用の課題をレポートにまとめておくこと（90分） 事後：GWの発表を通して重要事項等をレポートに追記すること（90分）	
3.	成長・発達に影響する要因：成長・発達に関する遺伝子要因	事前：成長・発達に関する遺伝子要因について通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイント（遺伝子要因）についてまとめること（90分）	
4.	成長・発達に影響する要因：成長・発達に関する環境要因	事前：成長・発達に関する環境要因について通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイント（環境要因）についてまとめること（90分）	
5.	人間の発達段階と発達課題：人間の発達段階	事前：人間の発達段階（ピアジェ等）について通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイント（発達段階）についてまとめること（90分）	
6.	人間の発達段階と発達課題：人間の発達課題	事前：人間の発達課題（エリクソン等）について通読しておくこと（90分） 事後：ピアジェ、エリクソン等の発達段階・発達課題をまとめること（90分）	

7.	老化の定義、老化とは：80歳の自分の全体像を描き老年期についてグループワーク	事前：GW用の課題をレポートにまとめておくこと（90分） 事後：GWの発表を通して重要事項等をレポートに追記すること（90分）
8.	老化に伴う身体的変化と生活への影響：加齢に伴う生理機能・身体機能	事前：加齢に伴う生理機能・身体機能について通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイント（疾患等）についてまとめること（90分）
9.	老化に伴う身体的変化と生活への影響：生理機能・身体機能の低下が日常生活に及ぼす影響	事前：加齢に伴う日常生活に及ぼす影響について通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイント（具体例等）についてまとめること（90分）
10.	老化に伴う心理的变化と生活への影響：老化による認知機能・知的機能、パーソナリティの変化	事前：老化による認知・知的機能等の変化について通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイント（具体例等）についてまとめること（90分）
11.	老化に伴う心理的变化と生活への影響：老化による適応や動機づけへの影響	事前：老化による適応や動機づけへの影響について通読しておくこと（90分） 事後：適応規制の内容を表にまとめて整理すること（90分）
12.	老年期の発達課題：老年期の発達の特徴	事前：老化期の発達の特徴について通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイント（老年期の発達課題）をまとめること（90分）
13.	老年期の発達課題：喪失体験とその後の心理過程の支援の視点	事前：老化期の発達の特徴について通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイント（喪失体験等）をまとめること（90分）
14.	老年期の発達課題：老年期における今日の課題	事前：老化期における今日の課題について通読しておくこと（90分） 事後：講義の要点・ポイント（多様性等）をまとめること（90分）
15.	まとめ	事前：人間の発達段階・発達課題の要点をまとめておくこと（90分） 事後：発達と老化の関連性および理解と支援の重要性を整理すること（90分）

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

- ・グループワークの課題は、事前にレポートで宿題とします。ゆえに、レポートの提出期限は守って下さい。
- ・適時、学習成果を知るためにドリルや小テストを実施する。

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

レポート及び授業への取り組み姿勢	定期試験	
20%	80%	

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
最新 介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	介護福祉士養成編集委員会	中央法規出版



<b>参考書又は参考資料等</b>	
・クエスチョンバンク介護福祉士国家試験問題解説 2022 ・授業の中で参考書や文献を紹介、国家試験対策の資料なども配布します。	
<b>授業外で行うべき学習（準備学習・事後学習等）</b>	
グループワークの課題は、事前にレポートで宿題とします。ゆえに、レポートの提出期限は守ってください。	
<b>担当教員の連絡先等</b>	
担当教員 E-mail	その他
hisakado@hcc.ac.jp	

授 業 科 目 名	認知症の理解		
担 当 者 名	久門 裕子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2500018	授 業 形 態	講義
学 年	1	開 講 期	通年
単 位 数	4	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP3-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>高齢化に伴う認知症の人数は、増加傾向にある。高齢者人口の増加に伴い、有病率も増加しているため、介護福祉業務には認知症の理解は不可欠である。この授業では、認知症ケアの理念を理解するとともに、認知症の人の身体機能、心理的・社会的側面に関する基礎的な知識を習得するを目指す。認知症の人への支援のあり方、また、家族支援、地域社会におけるサポートの重要性等について学ぶ。授業では、グループワーク、DVD を使用し、認知症に対する知識を深める</p> <p>*この講義は、看護師としての臨床および看護管理者の経験をいかし、授業を行う*</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症を取り巻く社会的背景・制度について理解できる。</li> <li>2. 医学的側面から見た認知症の基礎的知識について理解できる。</li> <li>3. 認知症に伴うこころとからだの変化を具体的に学び、観察力を養うことができる。</li> <li>4. 認知症の人に対する介護の基本を学び、介護実践力を培うことができる。</li> <li>5. 認知症に伴うこころとからだの変化を具体的に学び、介護に役立てることができる。</li> <li>6. 認知症に関する制度や地域におけるサポート体制等について学び、理解することができる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習 等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	認知症とは：認知症についてグループワーク	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：グループワークの内容をまとめる(90分)	
2.	認知症の人の体験の理解：グループワーク	事前：テキストの指定範囲を熟読し自分の意見をまとめておく(90分) 事後：グループワークの内容をまとめる(90分)	
3.	脳の機能・記憶のメカニズム	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：脳の機能について内容をまとめ、復習する(90分)	
4.	老化のしくみ 加齢に伴う身体機能の変化	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：加齢に伴う機能変化について内容をまとめ、復習する(90分)	
5.	認知症の人の行動・心理症状：グループワーク	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：グループワークの内容をまとめる(90分)	
6.	認知症の症状：中核症状	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：中核症状についてまとめ、復習する(90分)	
7.	認知症の症状：BPSD	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：B P S Dについて内容をまとめ、復習する(90分)	
8.	生活障害の理解：演習	事前：テキストの指定範囲を読み、演習に向けて考えをまとめる(90分) 事後：演習の内容をまとめる(90分)	
9.	認知症と間違えられやすい症状：うつ・せん妄	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：認知症と間違えられやすい症状について復習する(90分)	
10.	認知症の診断と重症度：演習	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：演習で行った認知症の診断方法について復習する(90分)	
11.	認知症の原因疾患と症状・生活障害 アルツハイマー型 レビー小体型など	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：認知症の分類について内容をまとめ、復習する(90分)	
12.	認知症の治療、治療薬	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：認知症の治療および薬についてまとめ、復習する(90分)	
13.	認知症の予防	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：認知症の予防について内容をまとめ、復習する(90分)	
14.	認知症の人の理解：認知症が及ぼす心理的影響、生活機能障害 DVD 鑑賞後グループワーク	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：グループワークの内容をまとめ、生活機能障害について復習する(90分)	

15.	まとめ①	事前：認知症の症状、分類、治療、生活機能障害を再確認しておく(90分) 事後：認知症の概要について復習しておく(90分)
16.	認知症を取り巻く状況 歴史と今後	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：認知症の歴史と現状について内容をまとめ、復習する(90分)
17.	認知症ケアの理念と視点：認知症の人の倫理と権利	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：認知症ケアの理念及と視点について内容をまとめ復習する(90分)
18.	認知症ケアの実際：認知症の人の理解とアセスメント	事前：テキストの指定範囲を熟読し、アセスメントをイメージする(90分) 事後：認知症ケアの実際について内容をまとめ、復習する(90分)
19.	認知症ケアの実際：認知症の人のコミュニケーション（関わりの基本）ロールプレイング	事前：認知症の方とのコミュニケーション方法についてまとめる(90分) 事後：専門的コミュニケーションの基本をまとめ、復習する(90分)
20.	認知症の人へのケア	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：認知症のケアについて内容をまとめ、復習する(90分)
21.	認知症の人への様々なアプローチと環境づくり： 認知症に伴う機能の変化と日常生活への影響 …グループワーク	事前：テキストの指定範囲を熟読し、演習のイメージをつくる(90分) 事後：症状に応じた機能変化と生活支援について内容をまとめ、復習する(90分)
22.	介護者支援：家族への支援	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：認知症の家族に対する支援策について復習する(90分)
23.	介護者支援：介護福祉職への支援、演習	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：介護福祉職への支援について意見をまとめ内容を復習する(90分)
24.	認知症の人を取り巻く制度：認知症の人の権利擁護	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：権利擁護制度について内容をまとめ、復習する(90分)
25.	認知症の人を取り巻く制度：認知症に関する制度、社会的課題	事前：テキストの指定範囲を熟読し生活課題をまとめておく(90分) 事後：法制度の理解と深め、社会的課題に関する内容をまとめる(90分)
26.	認知症の人と家族を取り巻く他職種連携の実際：地域や施設での取り組み	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後：他職種連携の実際について内容をまとめ、復習する(90分)
27.	認知症の人や家族の社会資源について：在宅事例検討	事前：テキストの指定範囲を熟読し、事例に関して考察しておく(90分) 事後：事例をまとめ、内容を理解する(90分)
28.	認知症の人や家族の社会資源について：在宅事例検討	事前：テキストの指定範囲を熟読し、事例に関して考察しておく(90分) 事後：事例をまとめ、在宅生活の支援方法について復習をする(90分)
29.	DVD 観賞 「認知症の人といっしょに生きる」 感想をレポートする	事前：テキスト・資料を読み、認知症支援の概要について復習する(90分) 事後：DVD 学習のレポートを作成する(90分)
30.	まとめ②	事前：テキスト、資料、ノートをまとめ再確認をしておく(90分) 事後：認知症を取り巻く課題とケアのあり方についてまとめる(90分)

## 準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・課題やレポートの提出期限を守って下さい。
- ・適時、学習成果を知るためにドリルや小テストを実施する。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕		
レポート及び授業への取り組み姿勢	定期試験	
20%	80%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座 13 認知症の理解」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
「ぜんぶわかる 認知症の事典」	河野和彦 監修	成美堂出版
参考書又は参考資料等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「クエスチョンバンク 介護福祉士国家試験問題解説 2022」</li> <li>・参考書や参考資料は適宜紹介します。</li> <li>・国家試験対策の資料を適宜配布します。</li> </ul>		
その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の計画は、授業のガイドラインです。授業の進行状況により変更する場合があります。</li> <li>・授業で分からなかった点や質問がある場合は、メールでも受け付けます。但し、提出物は受け付けません。</li> </ul> <p>※課題提出について：当日欠席者も、必ず提出すること。提出物は確認後に返却します。</p>		
担当教員の連絡先等		
担当教員 E-mail	その他	
hisakado@hcc.ac.jp		

授 業 科 目 名	障害の理解		
担 当 者 名	廣藤 智之	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2500019	授 業 形 態	講義
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP3-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害の理解の講義は、介護老人保健施設および通所リハビリテーションでの職務経験を持つ教員が、人体の構造や解剖・生理について「こころとからだのしくみ」と関連付け、医学的・心理的側面から、障害による心身への影響や心理的な変化を理解することを目的とする。</li> <li>・ さまざまな障害の理解と、障害に応じた安全・安楽な援助への知識や技術、及び介護環境の工夫や福祉機器の活用法を学び、自立と健康を守る学習を行う。</li> <li>・ 講義では視覚教材を用い、障害のある人の身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、ロールプレイングやケースカンファレンスを通し、障害のある人のみならず家族を含めた周囲の環境に配慮した介護の視点とチームケアのあり方を学ぶ。</li> </ul>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害の概念や障害に関する法的・医学的知識（障害の種類・原因・特性）を理解する。</li> <li>2. 各々の障害の特徴を捉え、介護上の留意点を列举できる。</li> <li>3. 障害が及ぼす心理的影響や障害の受容過程に配慮した生活支援を介護実践に繋げることができる。</li> <li>4. 家族支援・関連職種とのチームアプローチのあり方、また地域におけるサポート体制について列举できる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	第1章 障害の概念と障害者福祉の基本理念 (障害の概念)	事前：ICIDH、ICF、障害者の定義について通読しておくこと（90分） 事後：専門用語等の意味をプリントに追記する（90分）	
2.	第1章 障害の概念と障害者福祉の基本理念 (障害者福祉の基本理念)	事前：ノーマライゼーション等について通読しておくこと（90分） 事後：専門用語等の意味をプリントに追記する（90分）	
3.	第2章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ (障害者のある人の心理)	事前：指定範囲を復習し、ドリル・模擬問題を解答すること（90分） 事後：課題の誤答について再度、解答し要点を整理する（90分）	
4.	第2章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ (肢体不自由)	事前：脊髄損傷、脳性麻痺について通読しておくこと（90分） 事後：配布プリントのポイントをまとめる（90分）	
5.	第2章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ (視覚障害)	事前：眼の仕組み、視覚障害について通読しておくこと（90分） 事後：配布プリントのポイントをまとめる（90分）	
6.	第2章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ (聴覚・言語・重複障害)	事前：耳、言語野の仕組みについて通読しておくこと（90分） 事後：配布プリントのポイントをまとめる（90分）	
7.	第2章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ (内部障害① 心臓機能障害、呼吸器機能障害)	事前：心臓、呼吸器の仕組みについて通読しておくこと（90分） 事後：配布プリントのポイントをまとめる（90分）	
8.	第2章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ (内部障害② 腎臓機能障害、膀胱・直腸機能障害)	事前：腎臓、膀胱・直腸の仕組みについて通読しておくこと（90分） 事後：配布プリントのポイントをまとめる（90分）	
9.	第2章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ (内部障害③ 免疫機能障害、肝臓機能障害)	事前：HIV、肝臓の仕組みについて通読しておくこと（90分） 事後：配布プリントのポイントをまとめる（90分）	
10.	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ (知的・発達障害)	事前：知的、発達障害の特徴について通読しておくこと（90分） 事後：配布プリントのポイントをまとめる（90分）	
11.	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ (精神障害)	事前：精神障害の種類・特徴について通読しておくこと（90分） 事後：配布プリントのポイントをまとめる（90分）	

12.	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ (高次機能障害)	事前: 高次脳機能障害の特徴について通読しておくこと (90分) 事後: 配布プリントのポイントをまとめる (90分)
13.	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ (難病)	事前: 難病の種類・特徴について通読しておくこと (90分) 事後: 配布プリントのポイントをまとめる (90分)
14.	第4章 連携と協働 (地域でのサポート体制・チームアプローチ)	事前: 指定範囲を復習し、ドリル・模擬問題を解答すること (90分) 事後: 課題の誤答について再度、解答し要点を整理する (90分)
15.	第5章 家族への支援	事前: 指定範囲を復習し、ドリル・模擬問題を解答すること (90分) 事後: 課題の誤答について再度、解答し要点を整理する (90分)

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

- ・単元（若しくは授業）の終わりに、要点（まとめ）を伝えますので、各自で要点用のファイルを作成してください。
- ・授業ファイルおよび要点用ファイルは定期的に提出し内容を確認し返却します（必要に応じ、個別指導を行います）。
- ・教科書をもとに事前及び事後の自己学習を行ってください。また、準備学習以外でも、単元ごとにドリル・模擬問題を配布しますので、課題に取り組んでください。
- ・臓器の働き等（解剖・生理学の医学的分野）について専門書等を読み、各自でまとめておくことで授業が理解しやすくなると思います。

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

定期試験	レポート（自宅課題）	授業への取り組み姿勢	
60%	20%	20%	

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
最新 介護福祉士養成テキスト 14 障害の理解	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
クエスチョンバンク 介護福祉士国家試験問題解説 2022	医療情報科学研究所	メディックメディア

**参考書又は参考資料等**

- ・適宜、資料（プリント等）を配布する。

**その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕**

- ・「こころとからだのしくみ」での解剖・生理の知識が必要となります。それららの理解の上に「障害」について学ぶこととなるため、授業と並行して「からだのしくみ」を確実に覚える復習を行ってください。
- ・予習も大切ですが、復習することによって一つひとつの障害について理解することに力を入れてください。その際、分からない内容があれば個別にでも質問をし、分からないままにしないようにしてください。他の教科（「こころとからだのしくみ」、「生活支援技術Ⅲ」）と関連づけながら意識して学んでいくと、知識や技術が整理しやすいと思います。
- ・障害者総合支援法等の社会保障や各法令・施策との関連分野でもあります。「社会の理解」も参考にしながら必要な分野を理解してもらうため、事前に他科目のテキスト等に目を通してもらう等の予習を課すことがあります。
- ・資料整理のためのファイルを用意してください。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail	その他
hirofuji@hcc.ac.jp	

授 業 科 目 名	こころとからだのしくみ I		
担 当 者 名	久門 裕子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2500020	授 業 形 態	講義
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP3-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>介護実践に必要な知識という観点から、介護を必要とする人の生活支援を行うため、からだとこころのしくみについての知識を養い、介護実践に必要な観察力、判断力の基本となる知識を学び、根拠に基づいた介護技術を修得できることを目的とする。さらに、介護技術の根本となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解できるように学習をすすめる。講義を中心とし、演習やグループワークなどを通して、人を理解できるように取り組んでいきたい。</p> <p>*この講義は看護師として臨床および看護管理者としての経験をいかし、授業を行う*</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人体の基本的な構造や機能及びその疾病の発生メカニズムについて理解できる。</li> <li>2. こころの代表的な疾病についてその概要を理解することができる。</li> <li>3. こころとからだのしくみを具体的に学び、介護実践に必要な観察力、判断力の基盤となる根拠を理解することができる。</li> <li>4. こころとからだのしくみを学び、健康を意識した介護実践能力を培うことができる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準 備 学 習（予 習・復 習 等）の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1.	健康とは何か： レポート 健康の定義と設立について	事前：健康に関連する書物を読み、健康の定義を学んでおく（90分） 事後：授業の要点をまとめ、復習する（90分）	
2.	人間の欲求について：基本的欲求・社会的欲求	事前：テキストの指定範囲を熟読しておくこと（90分） 事後：学んだ内容を含め自身の欲求について熟慮する（90分）	
3.	自己実現と尊厳について：自己実現といきがい	事前：自己概念、自己実現について、考えてみよう（90分） 事後：講義の要点をまとめ、復習する（90分）	
4.	高齢者の理解 DVD 観賞：感想をレポート	事前：高齢者の方を観察し、レポートしてみよう（90分） 事後：高齢者とその家族の思いについて考えてみよう（90分）	
5.	こころのしくみの基礎：脳とこころについて	事前：脳の仕組みについて学んでおくこと（90分） 事後：授業の要点をまとめて復習する（90分）	
6.	こころのしくみの基礎：脳のもつ機能について	事前：関連する書物を読み脳・解剖図を覚えておくこと（90分） 事後：脳に関連する働きや名称を覚える（90分）	
7.	からだのしくみ：からだの部位の名称と役割	事前：テキストの身体各部の名称を覚えておくこと（90分） 事後：授業の要点をまとめて、復習する（90分）	
8.	からだのしくみ：からだの部位の名称と役割	事前：消化器系とは何かを学んでおくこと（90分） 事後：授業の要点をまとめて復習する（90分）	
9.	からだのしくみ：からだの部位の名称と役割	事前：循環器系とは？何かを学んでおくこと（90分） 事後：授業の要点をまとめて復習する（90分）	

10.	からだのしくみ：からだの部位の名称、 関節可動域	事前：関連する図書を読み骨格系・解剖図を学んでおく (90分) 事後：授業の要点をまとめて復習する (90分)
11.	からだのしくみ：人体模型を用いて理解	事前：人体解剖模型、人体骨格模型使用し名称を覚える (90分) 事後：授業の要点をまとめ、復習する (90分)
12.	からだのしくみ：関連する役割、薬の知識	事前：テキストの指定範囲を熟読すること (90分) 事後：授業の要点をまとめて、復習する (90分)
13.	老年期の機能、症状について：各自がレポートに まとめ、グループワーク	事前：高齢者の生活場面について考えてみよう (90分) 事後：グループワークの内容を根拠に基づきまとめる (90分)
14.	老年期の機能、症状について：グループワーク	事前：老年期の機能が低下する要因について考えてみよう (90分) 事後：グループワークの内容を根拠に基づきまとめる (90分)
15.	まとめ	事前：前半授業を振り返り、不明点を押さえておく (90分) 事後：前半授業を振り返り、定期試験に備える (90分)

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

- ・グループワークの課題は、事前にレポートで宿題としています。提出期限を守って下さい。
- ・適時、学習成果を知るためにドリルや小テストを実施する。

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

レポート及び授業への取り組み姿勢	定期試験	
20%	80%	

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
最新 介護福祉士養成講座 11 ころとからだのしくみ	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版

**参考書又は参考資料等**

- ・クエスチョンバンク介護福祉士国家試験問題解説 (2022)
- ・参考書や参考資料、プリント等は適宜紹介・配布する。

**その他の (受講生への要望等)**

- ・上記の計画は、授業のガイドラインです。授業の進行状況により変更する場合があります。
  - ・授業で分からなかった点や質問がある場合は、メールでも受け付けます。但し、提出物は受け付けません。
- ※課題提出について：当日欠席者も、必ず提出すること。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail	その他
hisakado@hcc.ac.jp	



授 業 科 目 名	こころとからだのしくみⅡ		
担 当 者 名	久門 裕子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2500021	授 業 形 態	講義
学 年	1	開 講 期	後期
単 位 数	2	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP3-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	こころとからだのしくみを理解した上で、生活場面に応じたこころとからだのしくみ、および心身の機能低下や障害が生活に及ぼす影響に関する基礎的な知識を理解する。さらに、生活場面ごとに、こころとからだのしくみ、心身の機能の低下や障害が生活に及ぼす影響を踏まえた介護におけるアセスメントや医療職との連携などの必要性を理解できる。 *この講義は看護師として臨床および看護管理者としての経験をいかし、授業を行う*		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1. 移動・食事・入浴・排泄・睡眠に関連したこころとからだのしくみを学び、根拠のある介護実践を行う必要性が理解できるようになる。 2. 死にゆく人のこころとからだのしくみについて理解することができる。 3. 医療職や他職種との連携の必要性について理解することができる。		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	移動に関連したこころとからだのしくみ：移動行為の生理的意味、安全・安楽な移動、歩行のしくみ	事前：移動が不自由になる要因について考えてみよう（90分） 事後：高齢者の移動手段についてまとめる（90分）	
2.	心身の機能の低下が移動に及ぼす影響：グループワーク	事前：移動が不自由になる要因について考えてみよう（90分） 事後：講義の要点をまとめて復習する（90分）	
3.	身じたくに関連したこころとからだのしくみ：身じたく行為の生理的意味、口の観察と予防（演習）	事前：テキストの指定範囲を熟読しておくこと（90分） 事後：高齢者の口腔ケアの方法を復習すること（90分）	
4.	身じたくに関連したこころとからだのしくみ：心身の機能低下が身支度に及ぼす影響	事前：なぜ、身じたくが必要か考えてみよう（90分） 事後：授業の要点をまとめて復習する（90分）	
5.	食事に関連したこころとからだのしくみ：栄養素と食事	事前：なぜ、人は食が必要なのか調べておくこと（90分） 事後：摂食と嚥下運動についてまとめて復習（90分）	
6.	食事に関連したこころとからだのしくみ：心身の機能低下が食事に及ぼす影響	事前：テキストの指定範囲を熟考しておくこと（90分） 事後：病気による嚥下障害の原因についてまとめる（90分）	
7.	入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ	事前：関連するテキストで、入浴・清潔を調べよう（90分） 事後：講義の要点をまとめて復習する（90分）	
8.	排泄に関連したこころとからだのしくみ：排泄のしくみ、排尿と排便のしくみ（演習）	事前：テキストの指定範囲を熟読しておくこと（90分） 事後：講義の要点をまとめて復習する（90分）	
9.	排泄に関連したこころとからだのしくみ：心身機能の低下が及ぼす排泄への影響：グループワーク	事前：排泄介助を要する高齢者の心理を考えてみよう（90分） 事後：GWの発表を通しての学びをレポートにまとめる（90分）	

10.	休息・睡眠に関連したところとからだのしくみ： 睡眠のしくみ	事前：テキストを読み人間と睡眠について考えてみよう (90分) 事後：睡眠のしくみについてまとめて復習する (90分)
11.	休息・睡眠に関連したところとからだのしくみ： 心身の機能の低下が及ぼす休息・睡眠への影響： グループワーク	事前：加齢による睡眠の変化について調べてみよう (90分) 事後：睡眠障害と良質な睡眠についてまとめてみよう (90分)
12.	生活場面におけるところとからだの変化の気づきと医療職との連携：グループワーク	事前：テキストの指定範囲を熟読しておくこと (90分) 事後：医療職との連携の必要性について復習しよう (90分)
13.	人生の最終段階のケアに関連したところとからだのしくみ：人生の最終段階に関する「死」のとらえ方とところの理解	事前：自分の死生について深く考えてみよう (90分) 事後：人の死、特に身近な人のについて考えてみよう (90分)
14.	人生の最終段階のケアに関連したところとからだのしくみ：終末期から死後のからだの理解、医療職との連携	事前：テキストの指定範囲を熟読しておくこと (90分) 事後：看取りから家族ケアについて復習する (90分)
15.	本授業のまとめと他科目との関連性について	事前：後半授業を振り返り、不明点を押さえておくこと (90分) 事後：後半授業を振り返り、定期試験に備える (90分)

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

- ・グループワークの課題は、事前にレポートで宿題としています。提出期限を守って下さい。
- ・適時、学習成果を知るためにドリルや小テストを実施する。

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

レポート及び授業への取り組み姿勢	定期試験	
20%	80%	

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
最新 介護福祉士養成講座 11 ところとからだのしくみ	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版

**参考書又は参考資料等**

- ・クエスチョンバンク介護福祉士国家試験問題解説 (2022)
- ・参考書や参考資料、プリント等は適宜紹介・配布する。 ・国家試験対策の資料も適宜配布します。

**その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕**

- ・上記の計画は、授業のガイドラインです。授業の進行状況により変更する場合があります。
  - ・授業で分からなかった点や質問がある場合は、メールでも受け付けます。但し、提出物は受け付けません。
- ※課題提出について：当日欠席者も、必ず提出すること。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail	その他
hisakado@hcc.ac.jp	

授 業 科 目 名	医療的ケア		
担 当 者 名	久門 裕子	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2500030	授 業 形 態	講義・演習
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP3-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>介護福祉士が医療的ケアを学ぶことになった経緯を理解し、対象となる人の健康状態の把握、高齢者及び障害児・者への喀痰吸引・経管栄養に必要な概念を学ぶとともに知識や技術が修得できることを目的とする。経鼻または胃瘻・腸瘻による経管栄養の操作ができるようになる。</p> <p>授業は、講義を中心とし、DVD による喀痰吸引等の実施手順などを学び、シミュレーターを用いて演習する。</p> <p>この講義は、看護師の経験をもつ教員が喀痰吸引、経管栄養の経験をいかし、授業を進める。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療的ケア実施の基礎として安全性、感染予防、健康状態把握のための知識を修得する。</li> <li>2. 喀痰吸引、経管栄養の基礎的知識と実施手順を理解し、利用者のニーズに応えることができるようになる。</li> <li>3. 喀痰吸引、経管栄養の演習を実施する。その知識・技能をいかし多面的に考察し、様々な状況に対応することができるようになる。</li> </ol>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	人間と社会：個人の尊厳、医療の倫理、利用者や家族の気持ちの理解	事前：医療的ケアって？ 調べてみよう（90分） 事後：授業の要点をまとめ、復習する（90分）	
2.	保健医療チーム制度とチーム医療：保健医療に関する制度、医行為に関する法律	事前：医行為とは、調べてみよう（90分） 事後：医療の倫理を重点に復習する（90分）	
3.	安全な療養生活：喀痰吸引や経管栄養の安全な実施	事前：安全な療養生活について調べてみよう（90分） 事後：インフォームドコンセントについて考えてみよう（90分）	
4.	救急蘇生	事前：救急蘇生が、なぜ必要か考えてみよう（90分） 事後：救急蘇生の実際についてまとめてみよう（90分）	
5.	清潔保持と感染予防：療養環境の清潔・消毒法、職員の感染予防	事前：感染予防について考えてみよう（90分） 事後：標準予防策について復習する（90分）	
6.	滅菌と消毒の違い	事前：感染予防とは何か、整理してみよう（90分） 事後：滅菌と消毒の違いについて、理解しよう（90分）	
7.	健康状態の把握、バイタルサインと急変状態について	事前：健康について考えてみよう（90分） 事後：授業の要点をまとめ、復習する（90分）	
8.	呼吸のしくみとはたらき、いつもと違う呼吸状態について	事前：なぜ、バイタル測定は必要なのか（90分） 事後：呼吸の仕組みと異常時に呼吸についてまとめる（90分）	
9.	高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論：呼吸のしくみと働き	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく（90分） 事後：授業の要点をまとめ、復習する（90分）	

10.	吸引器具・機材のしくみ、清潔操作について	事前：吸引器具や機材を実際に扱ってみよう（90分） 事後：吸引器具や機材などの清潔に扱うことができる（90分）
11.	喀痰吸引ケアの実施手引き、報告および記録	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく（90分） 事後：喀痰吸引の準備から報告まで暗記しよう（90分）
12.	口腔内や鼻腔内吸引および気管カニューレ内部の喀痰吸引等の通常手順	事前：口腔内・鼻腔内吸引の手順をマスターしよう（90分） 事後：本日の演習について、まとめてみよう（90分）
13.	人口呼吸器装着患者の生活支援上の留意点について	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく（90分） 事後：人工呼吸器療法（侵襲的）について復習する（90分）
14.	子どもの吸引について、利用者や家族への対応、説明と同意について	事前：テキスト指定範囲を熟読しておく（90分） 事後：吸引を受ける利用者や家族の気持ちを考えよう（90分）
15.	急変・事故発生時の対応と事前対策	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく（90分） 事後：喀痰吸引で生じる事故について考えてみよう（90分）
16.	消化器のしくみとはたらき	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく（90分） 事後：嚥下のプロセスをまとめよう（90分）
17.	消化・吸収とよくある消化器の症状	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく（90分） 事後：よくある消化器の症状について復習する（90分）
18.	経管栄養とは	事前：経管栄養をテキストで理解しておこう（90分） 事後：経管栄養の実施手順を暗記しよう（90分）
19.	経管栄養実施上の留意点	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく（90分） 事後：経管栄養の通常手順を実施できること（90分）
20.	子どもの経管栄養について	事前：経管栄養の通常手順を復習しよう（90分） 事後：子どもの経管栄養の要点をまとめる（90分）
21.	経管栄養に関係する感染と予防	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく（90分） 事後：経管栄養の感染予防について復習する（90分）
22.	経管栄養受ける利用者や家族への対応、説明と同意について	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく（90分） 事後：経管栄養を受ける利用者と家族の思いについて考えてみよう（90分）
23.	経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	事前：経管栄養により生じる事故を考えてみよう（90分） 事後：経管栄養実施時の安全確認についてまとめる（90分）
24.	急変・事故発生時の対応と事前確認	事前：テキストの指定範囲を熟読しておく（90分） 事後：ヒヤリハット・アクシデントについて復習する（90分）
25.	経管栄養で用いる器具・機材及びそのしくみと清潔操作	事前：テキストで器具・機材の名称等を覚える（90分） 事後：器具・機材の名称を復習する（90分）

26.	経管栄養ケア実施の手引き	事前：テキストの指定範囲を熟読する（90分） 事後：経管栄養のケア実施の手順を復習する。
27.	胃瘻・腸瘻、または経鼻による経管栄養	事前：テキストの指定範囲を熟読する（90分） 事後：授業で学んだ経管栄養の手順について復習する（90分）
28.	喀痰吸引、経管栄養の実技演習	事前：テキストを熟読し、実技演習に望む（90分） 事後：実技演習が手順通り実施できるようになる（90分）
29.	報告と記録の必要性について	事前：記録の内容や報告の必要性についてまとめる（90分） 事後：学んだ内容の要点を整理し、復習する（90分）
30.	まとめと集中講義	事前：学んだ内容を振り返り不明な点はまとめる（90分） 事後：授業を振り返り、定期試験に備える（90分）

**準備学習・事後学習等についての補足説明**

- ・喀痰吸引等については、シミュレーター用いた演習の場合は「一人で実施できる」まで指導を受けて事後学習をすること。
- ・演習に関しては、各項目の実施手順習熟度テストを行い8割以上の出来が認められなければ受けられないものとする。

**成績評価の方法〔評価項目と割合〕**

定期試験	授業中に数回行う小テスト	授業への取り組み姿勢
80%	10%	10%

**使用テキスト**

書籍名	著者	出版社
最新 介護福祉士養成講 15 医療的ケア	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版

**参考書又は参考資料等**

- ・授業の中で参考図書や文献を紹介する。演習や実技の時は、積極的にテキストや資料を読んで参加すること。
- ・クエスチョンバンク介護福祉士国家試験問題解説（2022）

**その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕**

- ・演習や実技は、介護実習室で行います。介護実習室では、実習服で臨んで下さい。髪型もまとめて下さい。
- ・この授業は、演習実技を中心に展開するので、欠席した場合は、必ず追加補習を受けて、技術を修得しましょう。

**担当教員の連絡先等**

担当教員 E-mail	その他
hisakado@hcc.ac.jp	

授 業 科 目 名	バリアフリー論		
担 当 者 名	深町 晃次	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	2500022	授 業 形 態	講義
学 年	1	開 講 期	後期
単 位 数	2	履 修	選択
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	超高齢社会を迎え、国の施策が施設依存型から、地域密着型へと変化をしている。高齢者・障がい者が住み慣れたわが家、住み慣れた地域での在宅生活を送る場合の障壁（バリアー）となる物を探り、身体状態を理解し、障壁（バリアー）を取り除く手法や、安心・安全な住まいの創り方の基本を知ることが目的とする。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1. バリアフリーの手法を理解し、高齢者・障がい者が在宅生活を維持できる方策を修得する。 2. 福祉住環境コーディネーター3級レベルの知識を目標とする。		
授 業 計 画	準 備 学 習（予 習・復 習 等）の 具 体 的 な 内 容 及 び 必 要 時 間		
1.	ガイダンス、少子高齢社会と共生社会への道	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
2.	バリアフリーとユニバーサルデザイン	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
3.	福祉用具と住宅改修	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
4.	難病の方の在宅生活を支える	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
5.	住まいの知識 1 建物構造	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
6.	住まいの知識 2 住宅設備機器	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
7.	生活行為別にみる安全・安心な生活：起居・移動	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
8.	生活行為別にみる安全・安心な生活： 排泄・整容・更衣・入浴	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
9.	生活行為別にみる安全・安心な生活： 清掃・洗濯・調理	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
10.	高齢者の健康と自立	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
11.	在宅生活の維持を支える介護保険制度	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
12.	障害の種類と自立の方策	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	
13.	脳卒中片麻痺の方の在宅生活を支える	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）	

14.	安心できる住生活とまちづくり	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）
15.	介護とバリアフリー	事前：教科書の該当箇所を通読しておく（90分） 事後：講義の要点・ポイントについてまとめること（90分）
<b>準備学習・事後学習等についての補足説明</b>		
授業の進行が速いので、事前学習を必ずすること。分からない箇所は授業で積極的に質問してください。		
<b>成績評価の方法〔評価項目と割合〕</b>		
レポート	小テスト及び課題	
70%	30%	
<b>使用テキスト</b>		
書籍名	著者	出版社
福祉住環境コーディネーター検定試験 3級公式テキスト		東京商工会議所
<b>参考書又は参考資料等</b>		
・適宜資料を配布します。		
<b>その他〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕</b>		
<b>担当教員の連絡先等</b>		
担当教員 E-mail	その他	
fukamachi@knwu.ac.jp		